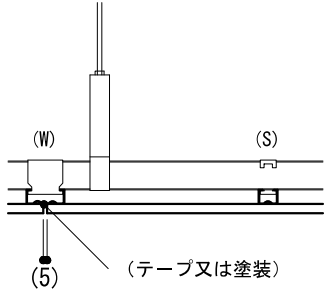
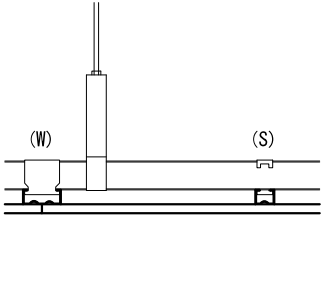
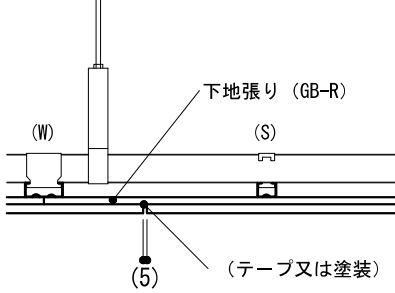
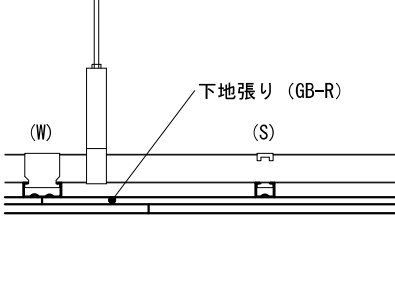
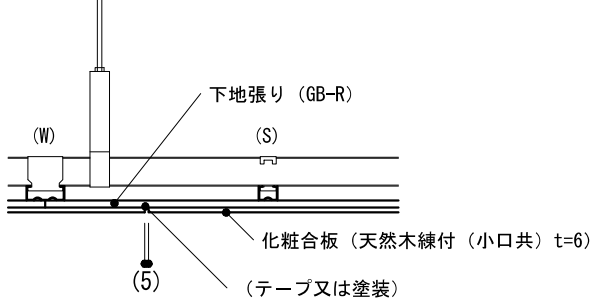
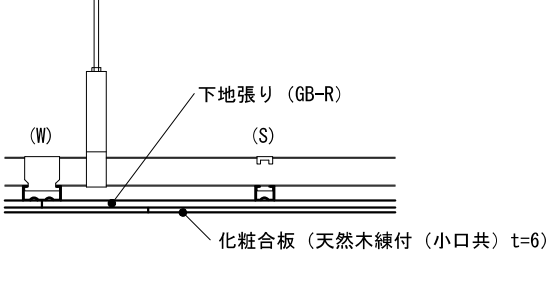
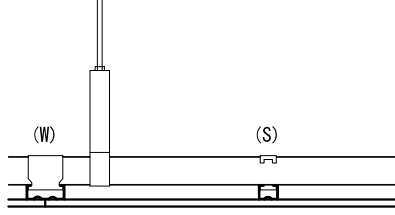
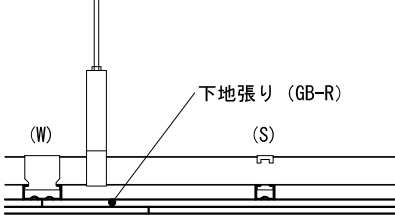
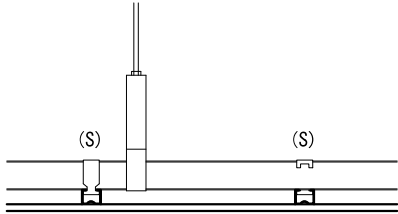
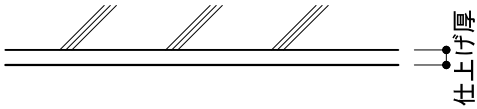
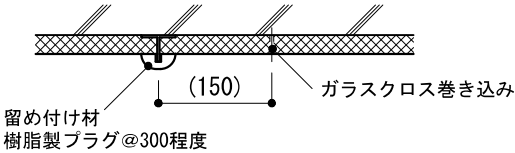
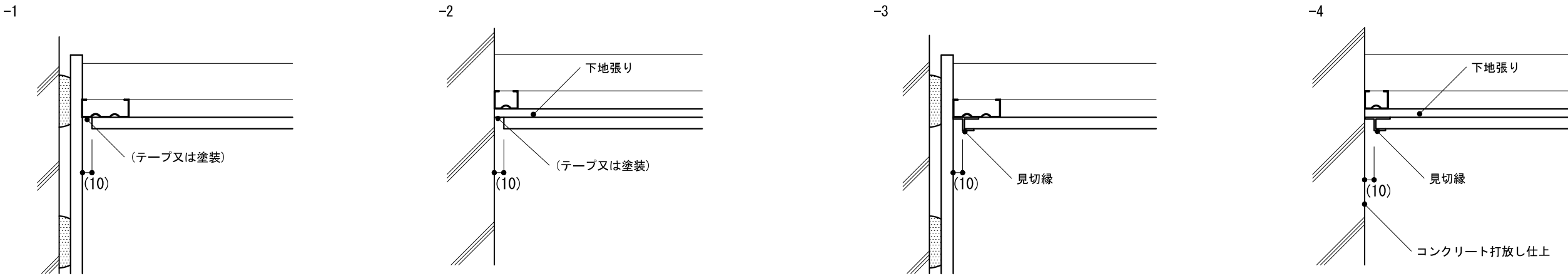
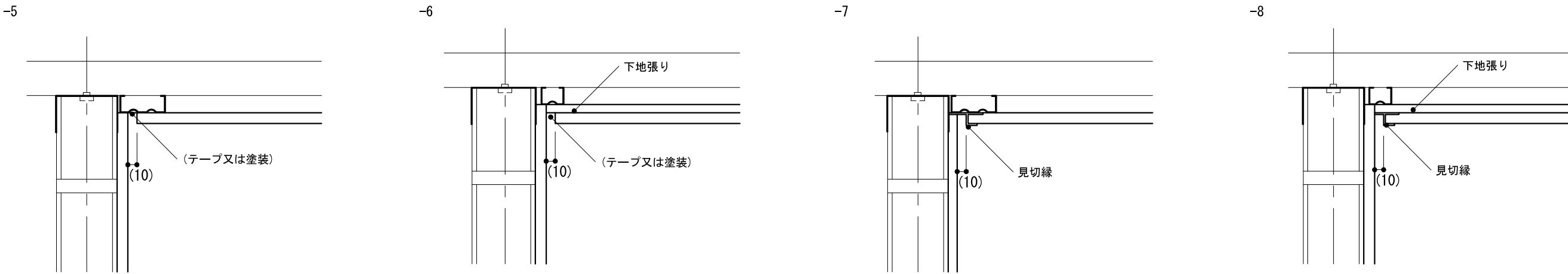


-1・-2 ボード(下地張りのない場合)		-3・-4 ボード類(下地張りのある場合)	
-1  目透し工法	-2  突付け工法	-3  目透し工法	-4  突付け工法
-5・-6 化粧合板(天然木練付)		-7・-8 壁紙	
-5  目透し工法	-6  突付け工法	-7 	-8 
-9 金属成形板	-10 吹付け材	-11 コンクリート打放し, コンクリート打放しの上塗装等	-12 吸音材の上ガラスクロス張り
			
仕様 1) 適用範囲は、公共標仕(建)14. 4. 1による。 2) Wはダブル野縁を, Sはシングル野縁を示す。 3) -9で継手を設ける場合は必要に応じて, 継手部分にはダブル野縁を使用する。 4) ボードの種別が化粧せっこうボード(木目)の場合は, 専用下地材による。	特記事項 1) -1~-8のボードの材種, 厚さ 2) -5,-6の天然木の樹種 3) -9の金属成形板の材質, 厚さ, 幅 4) -10の吹付け材の種別, 厚さ 5) -11のコンクリート打放しの種別 6) -12の吸音材の材種, 厚さ 7) 下地張りの材種, 厚さ		図面名称 天井 : 仕上げ 縮 尺 1/10 建築工事標準詳細図 平成28年版 3-01

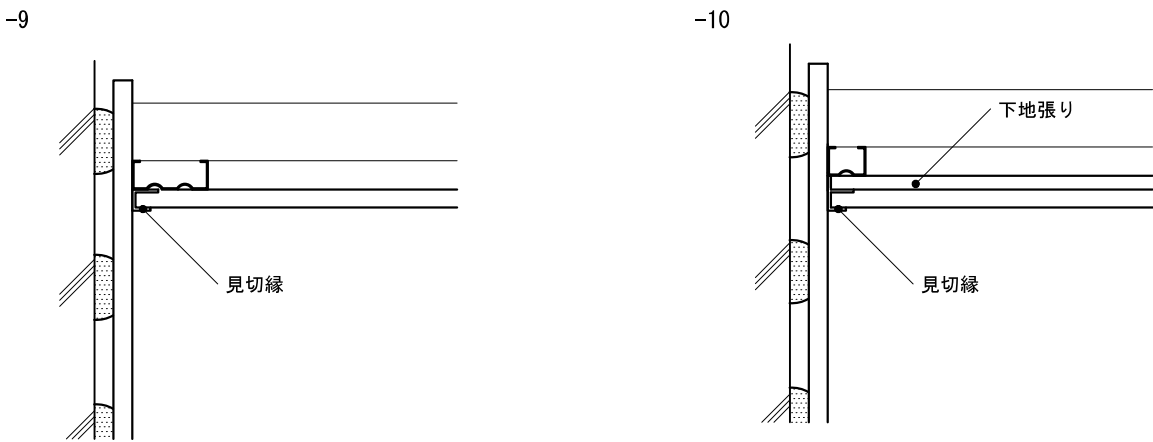
-1～-4 天井付き目地（壁せっこうボード下地・打放しコンクリート下地）



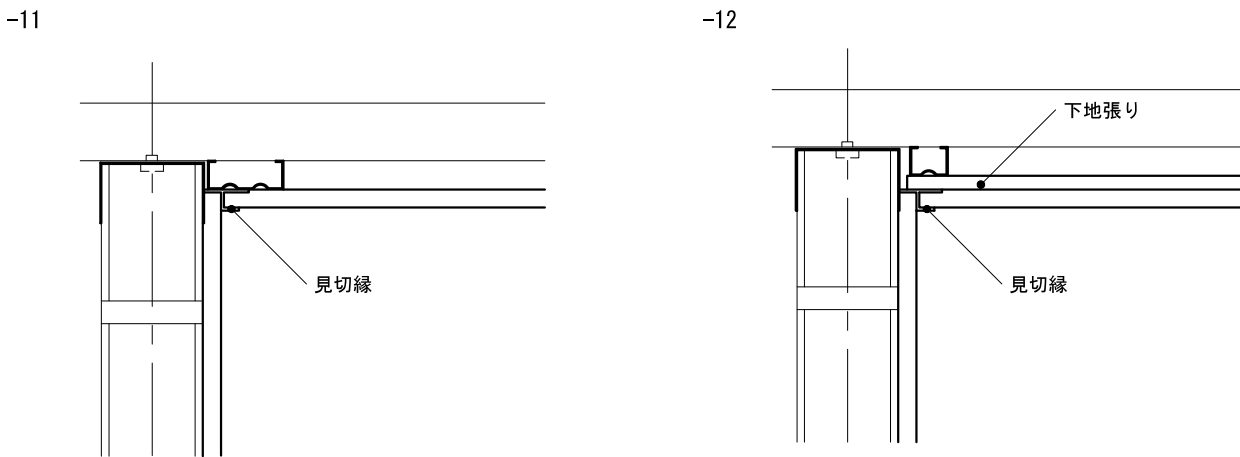
-5～-8 天井付き目地（軽量鉄骨壁下地）



-9・-10 突付け目地（壁せっこうボード下地）



-11・-12 突付け目地（軽量鉄骨壁下地）



仕様

- 1) 適用範囲は、公共標仕(建)14. 4. 1による
- 2) 壁取合い部の野縁種別は、天井下地張りのない場合はダブル野縁(W),天井下地張りのある場合シングル野縁(S)を使用する。

特記事項

- 1) -3, -4, -7～-12の見切縁の材種

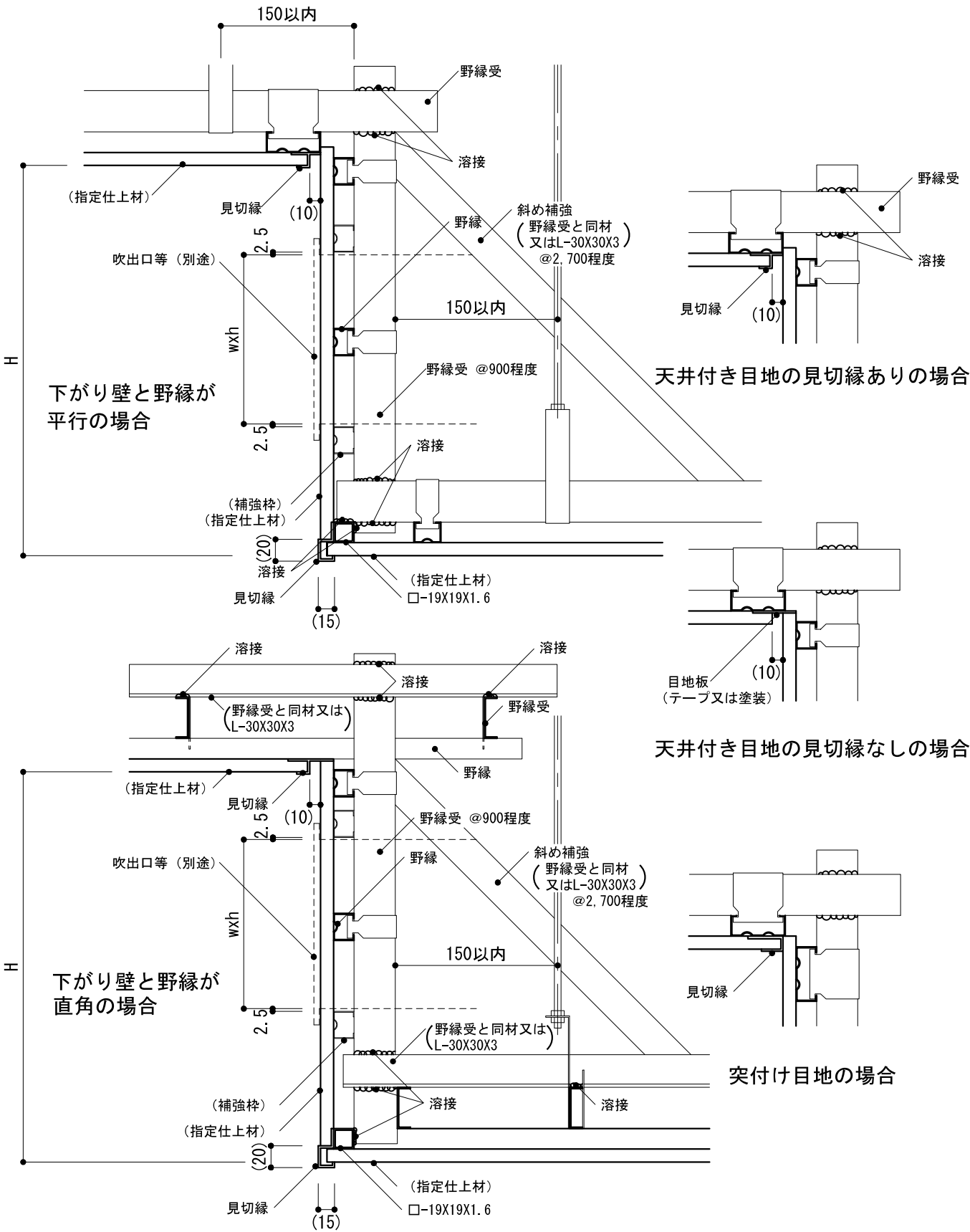
図面名称 天井取合い：壁一天井

縮 尺 1/5

建築工事標準詳細図 平成28年版

3-11

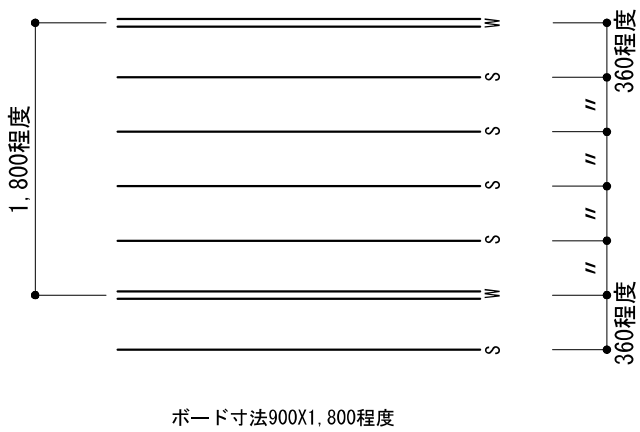
-1 下がり壁



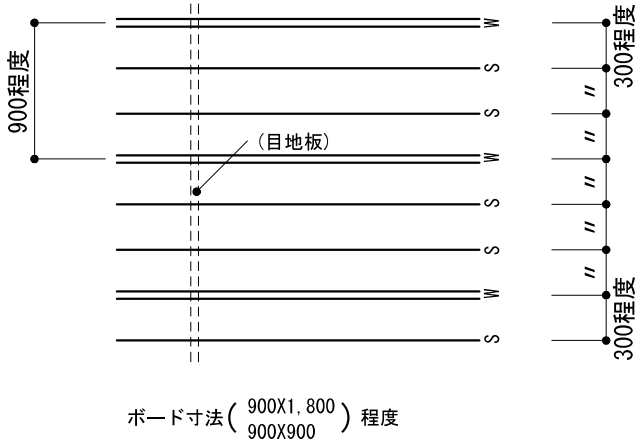
仕様 1) 適用範囲は、公共標仕(建) 14. 4. 1による。 2) 補強枠材は野縁と同材とし、吹出口などが取付く場合にのみ適用する。 3) 見え隠れ鉄面は錆止め塗料塗りとする。	特記事項 1) 下がり壁のH 2) 天井，下がり壁の下地張りの有無 3) 見切縁の材種 4) 天井と下がり壁取合いの目地の種類 5) w, h 6) 指定仕上材の種類	図面名称 天井取合い：下がり壁	
		縮 尺 1/5	3-12
		建築工事標準詳細図 平成28年版	

-1～-4 軽量鉄骨天井下地

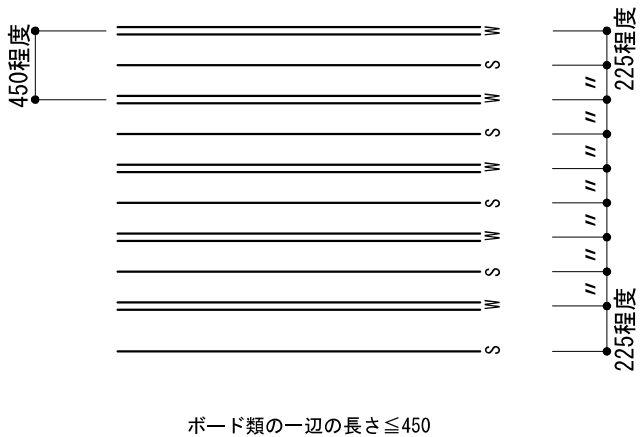
-1 下地張りのある場合



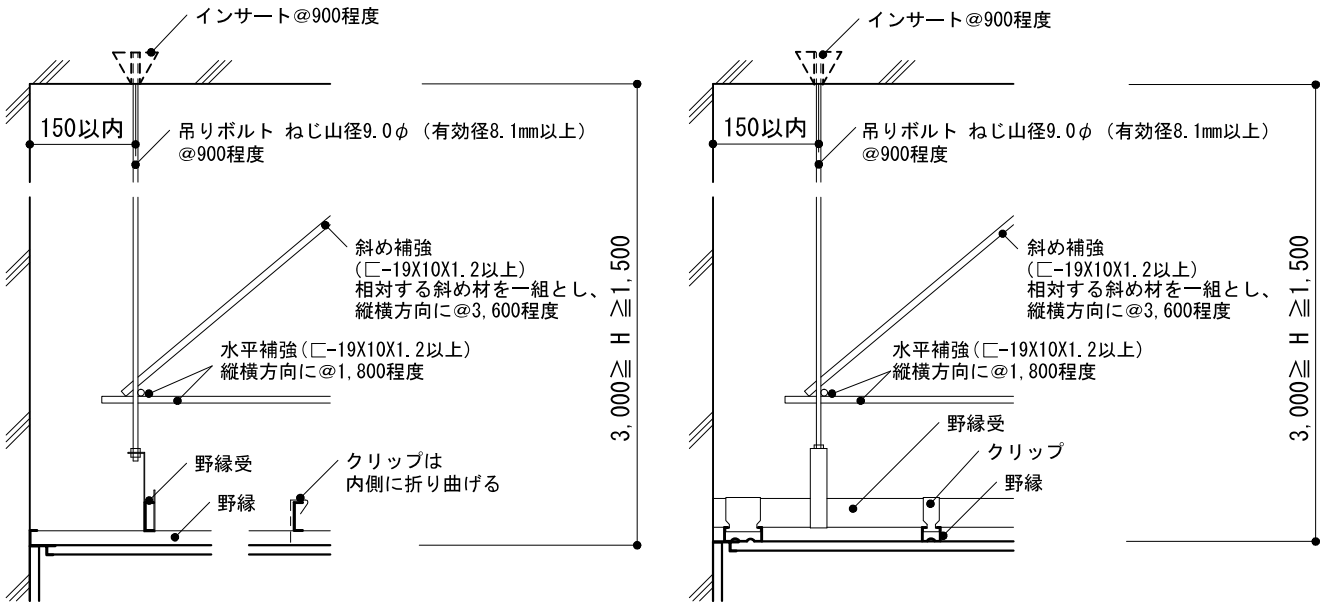
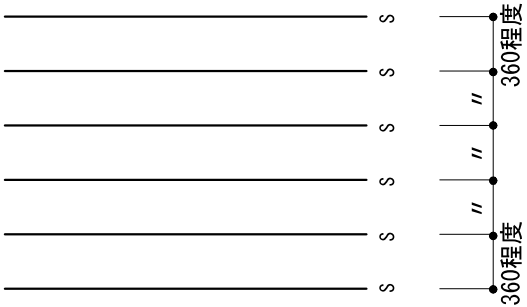
-2 下地張りのない場合



-3 下地張りのない場合



-4 金属成形板張りの場合

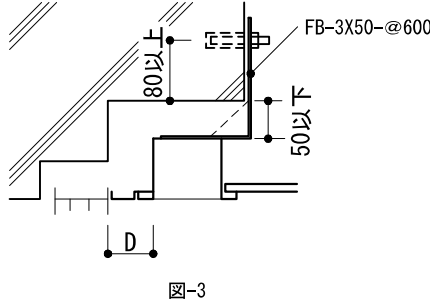
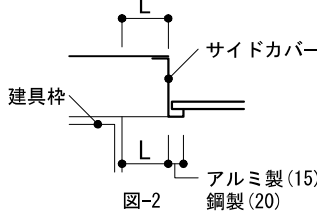
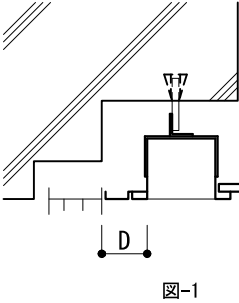


周辺部の天井下地の組み方 (天井のふとろが大きい場合)

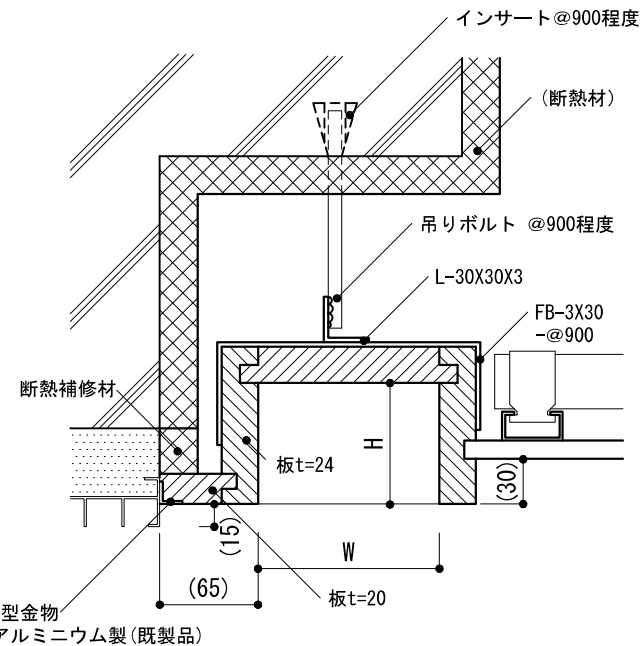
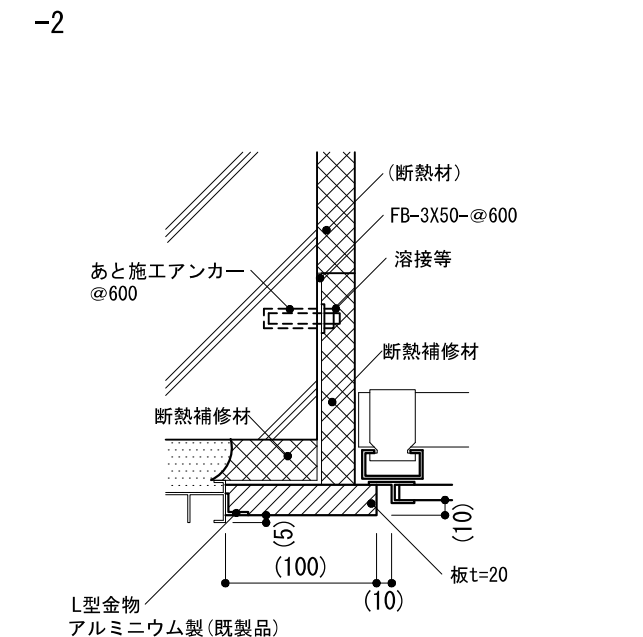
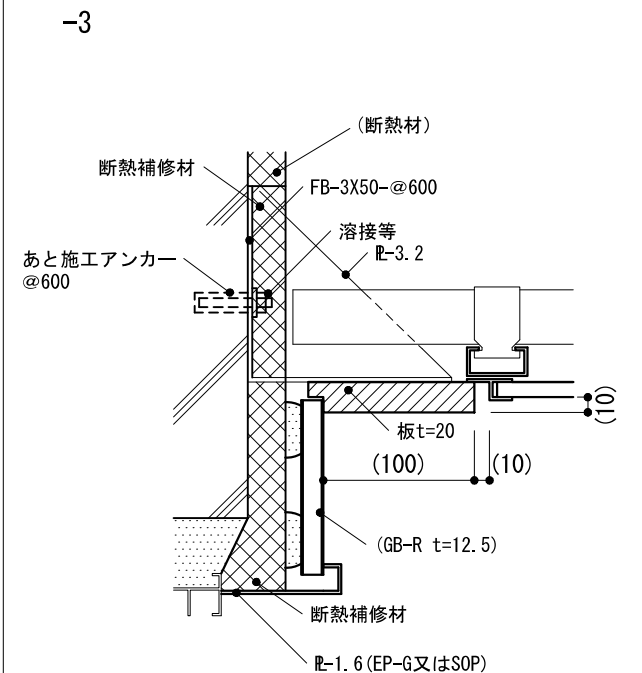
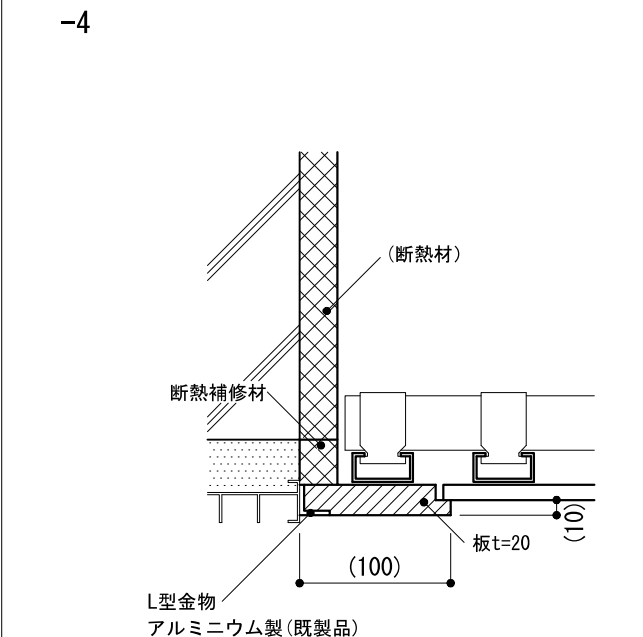
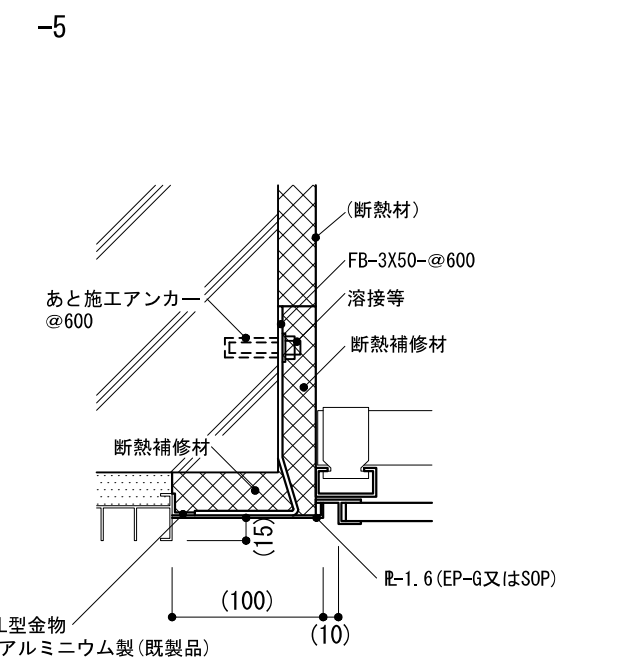
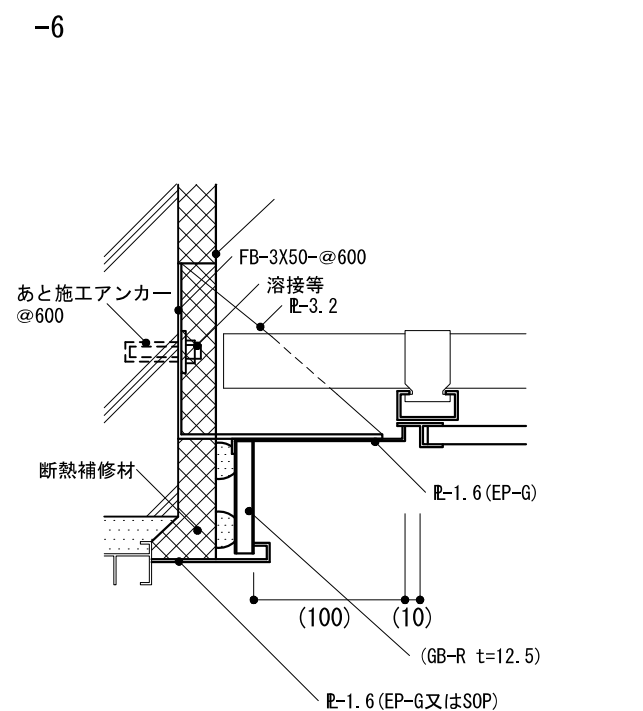
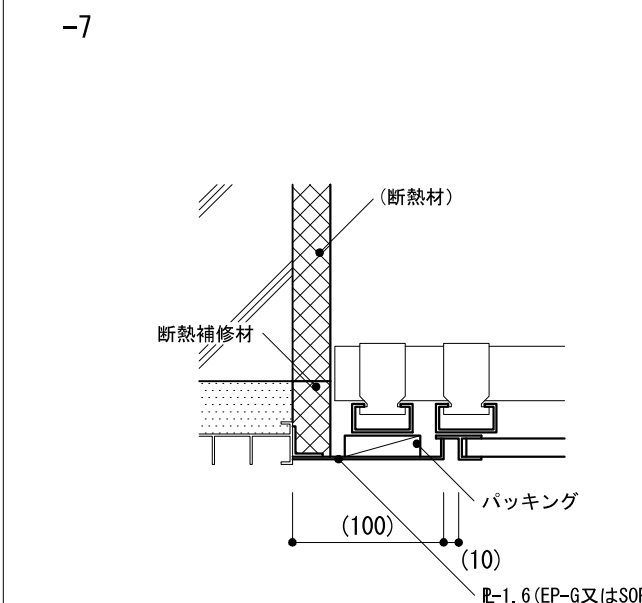
仕様 1) 適用範囲は、公共標仕(建)14. 4. 1による。 2) Wはダブル野縁, Sはシングル野縁を示す。 3) -2の目地板(溶融亜鉛めっき鋼板等)は、目透し張りの場合に野縁と直角方向の目地当たり部分に取付ける。 4) クリップのつめが溝側に位置するものは、野縁受の溝内に確実に折り曲げる。 5) 水平補強、斜め補強は容易に外れることがないように、吊りボルトに適切な方法で接合する。	特記事項 1) 野縁等の種類 2) 屋外の場合の野縁、野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔、周辺部の端からの距離 3) 耐震性を考慮した補強 4) 天井ふとろが3mを超える場合の補強 5) 目地板の種類	図面名称 軽量鉄骨天井下地	
		縮 尺	1/10, 1/50
		建築工事標準詳細図 平成28年版	

-1 鋼製埋込み形	-2 鋼製埋込み形	-3 アルミニウム製埋込み形	

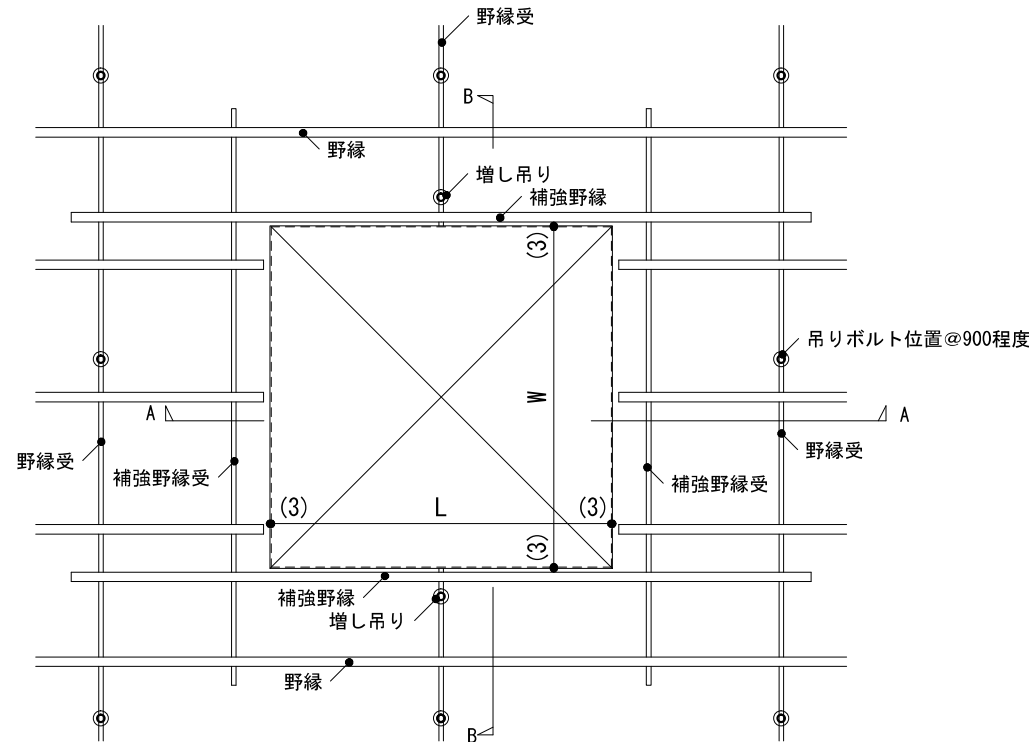
カーテンボックスの標準寸法

分類	種 類	W	H	L	備 考
A	レース ケースメント ドレープ レース+ドレープ	150	80	150	1) Lはカーテンボックスの長さが6,000mm程度で開閉は引分けの場合のカーテンのたたみ込み寸法を示す。 2) 鋼製, 又はアルミニウム製カーテンボックスにサイドカバーを設ける場合は図-2による。 3) 梁等により取付寸法が50mm以下となる場合は図-3による。 
B	縦形ブラインド	120	80	150 0	
C	横形ブラインド	120	150	0~50	
D	レース+横形ブラインド ケースメント+横形ブラインド ドレープ+横形ブラインド 暗幕+横形ブラインド	180	150	150	

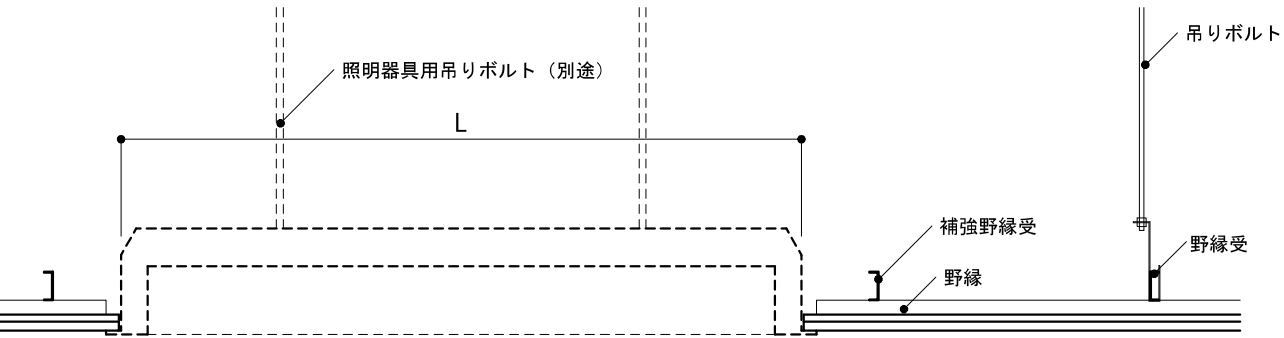
仕様 1) 鉄面は錆止め塗料塗りとする。 2) 吊りボルト端部の持出しは、50mm以下とする。 3) 鋼板は公共標仕(建)16.4.3(a)(1)による表面処理亜鉛めっき鉄板とする。 4) ~3の表面処理は公共標仕(建)表14.2.1による。 5) 吊りボルト及びインサートは、軽量鉄骨天井下地の吊りボルト、インサートと同材とする。 6) 断熱材を貫通するインサートは、熱橋防止を考慮したインサートとする。	特記事項 1) W, H, L, D 2) サイドカバーの有無 3) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種 4) 鉄部の塗装の種別	図面名称		カーテンボックス：鋼製、 アルミニウム製	
		縮 尺	1/5	3-31	
		建築工事標準詳細図 平成28年版			

-1 木製埋込み形		-2～-4 木製受け板	
-1		-2	
-3		-4	
-5～-7 鋼製受け板			
-5		-6	
-7			
仕様 1) 鉄面は錆止め塗料塗りとする。 2) 鋼板は公共標仕(建)16.4.3(a)(1)による表面処理亜鉛めっき鉄板とする。 3) 吊りボルト及びインサートは、軽量鉄骨天井下地の吊りボルト、インサートと同材とする。 4) 断熱材を貫通するインサートは、熱橋防止を考慮したインサートとする。		特記事項 1) W, H, L(3-31による) 2) 木部及び鉄部の塗装の種別 3) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種 4) サイドカバーの有無及び取合い	
図面名称		カーテンボックス：木製、 カーテン受け板	
縮 尺		1/5	
建築工事標準詳細図 平成28年版		3-32	

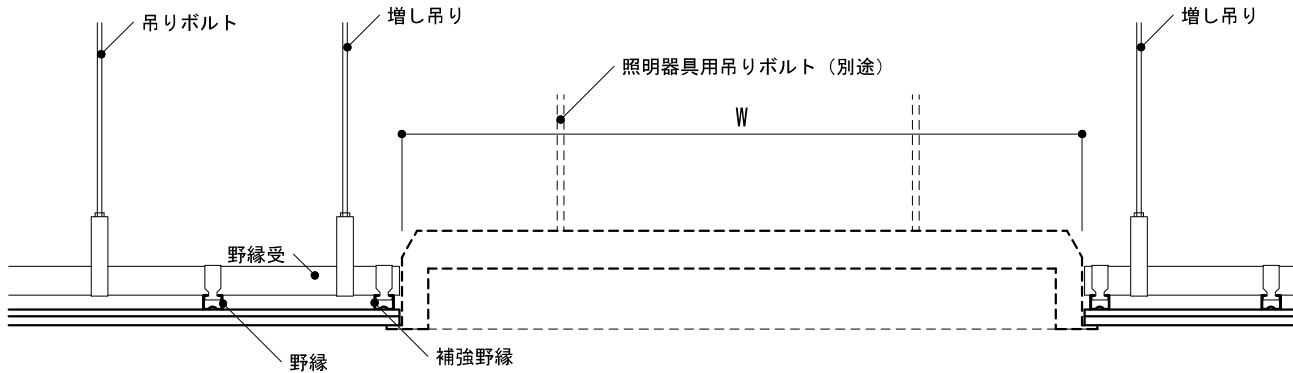
-1 野縁を切断する場合(1)



伏 図 1/20

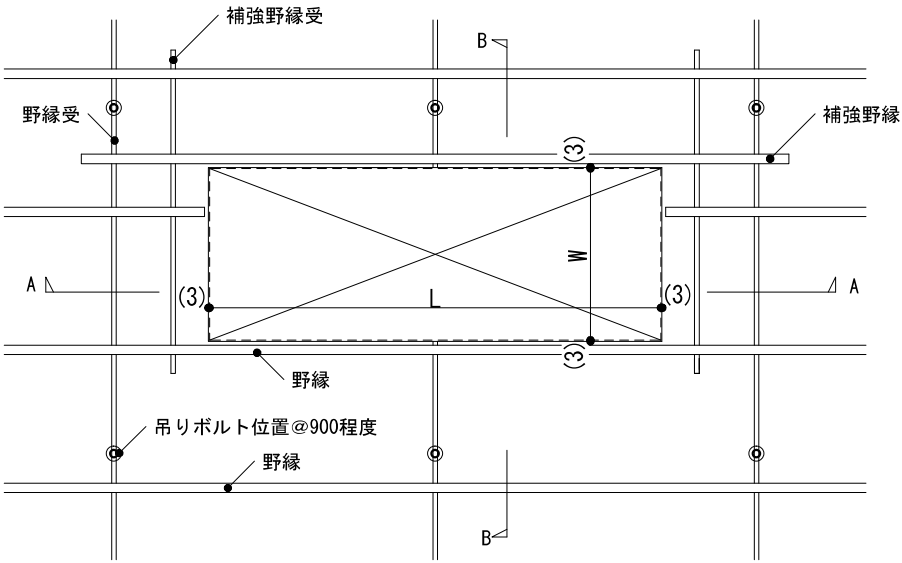


A-A断面 1/10

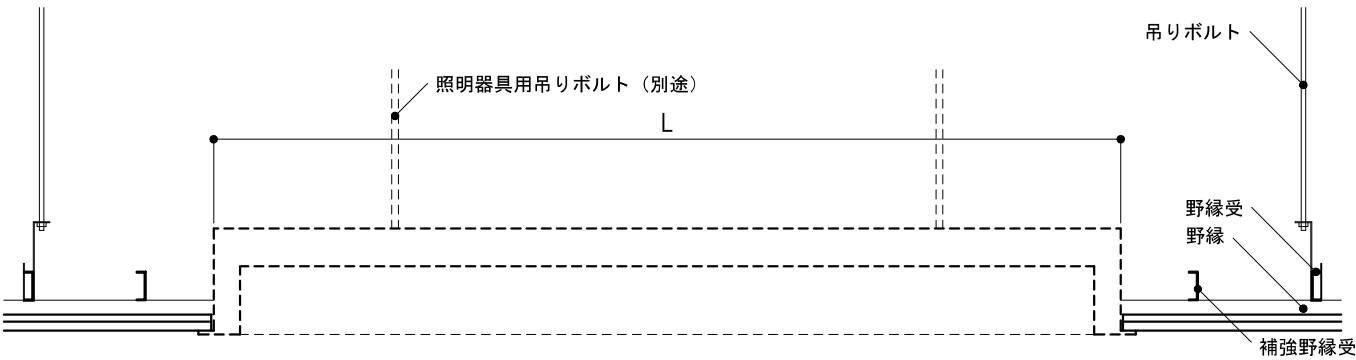


B-B断面 1/10

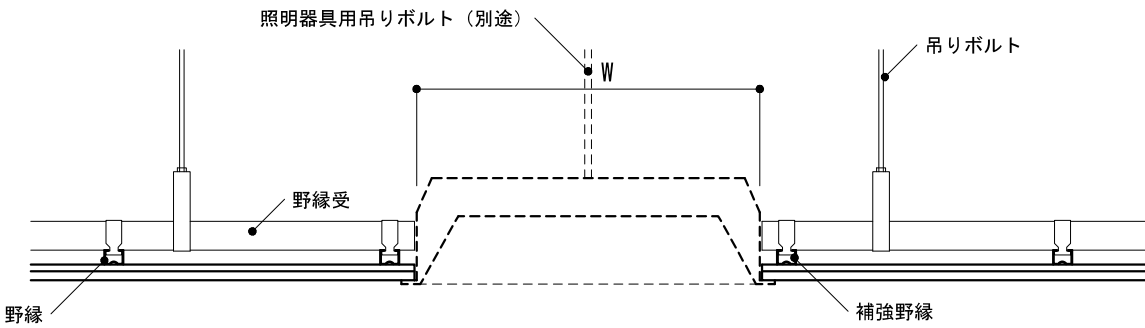
-2 野縁を切断する場合(2)



伏 図 1/20



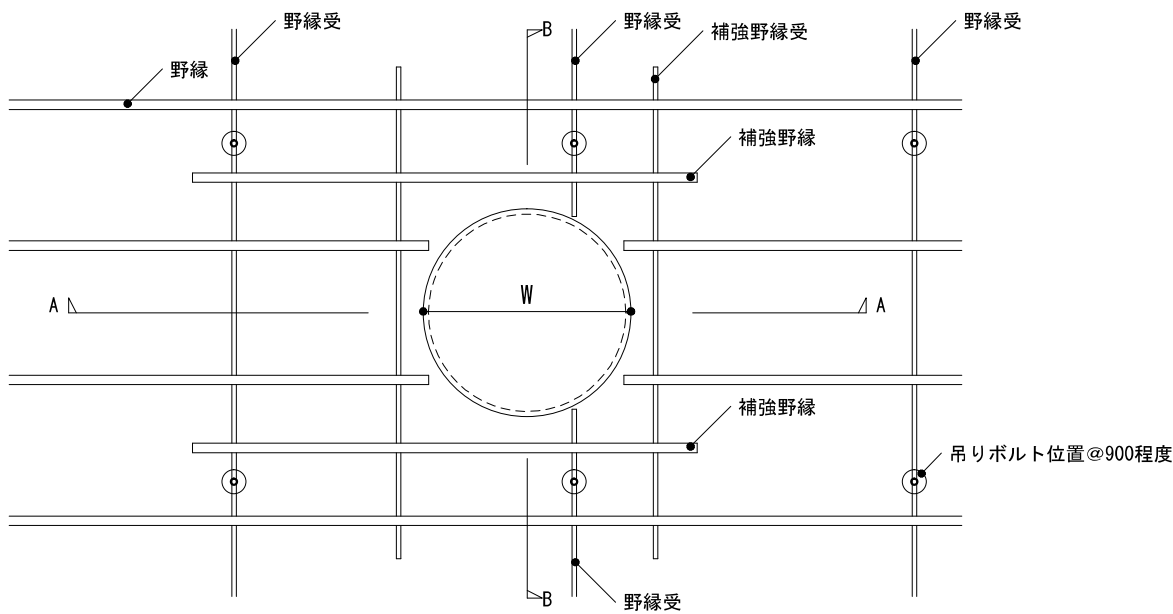
A-A断面 1/10



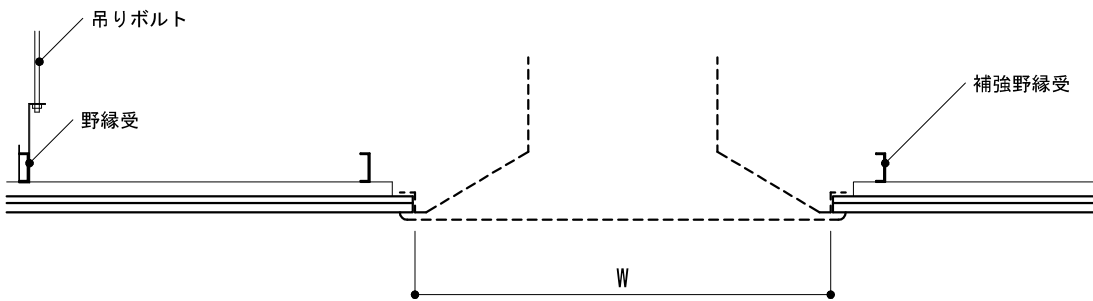
B-B断面 1/10

仕様 1) 補強野縁は野縁と、補強野縁受は野縁受と同材とする。 2) 野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。	特記事項 1) W, L 2) 野縁等の種類	図面名称 天井開口部下地補強：照明器具, その他	
		縮 尺 1/10, 1/20	3-41
		建築工事標準詳細図 平成28年版	

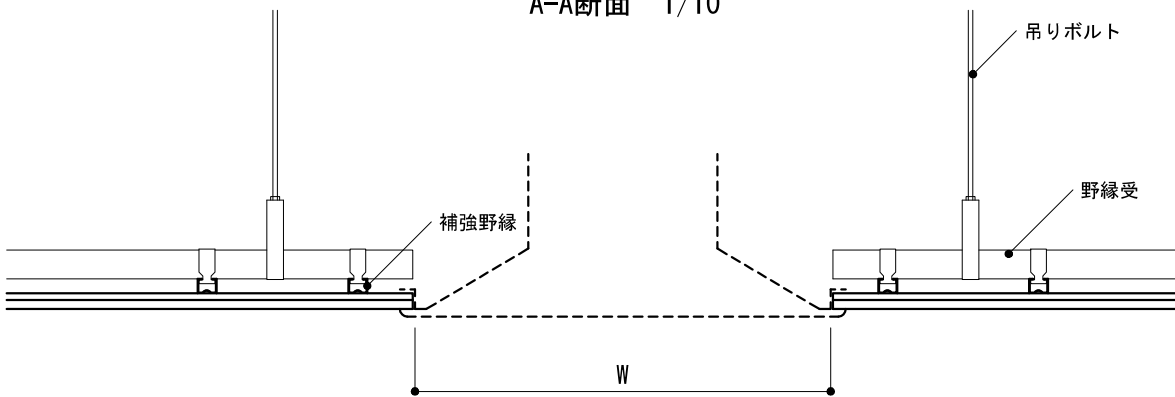
-1 天井吹出口



伏図 1/20

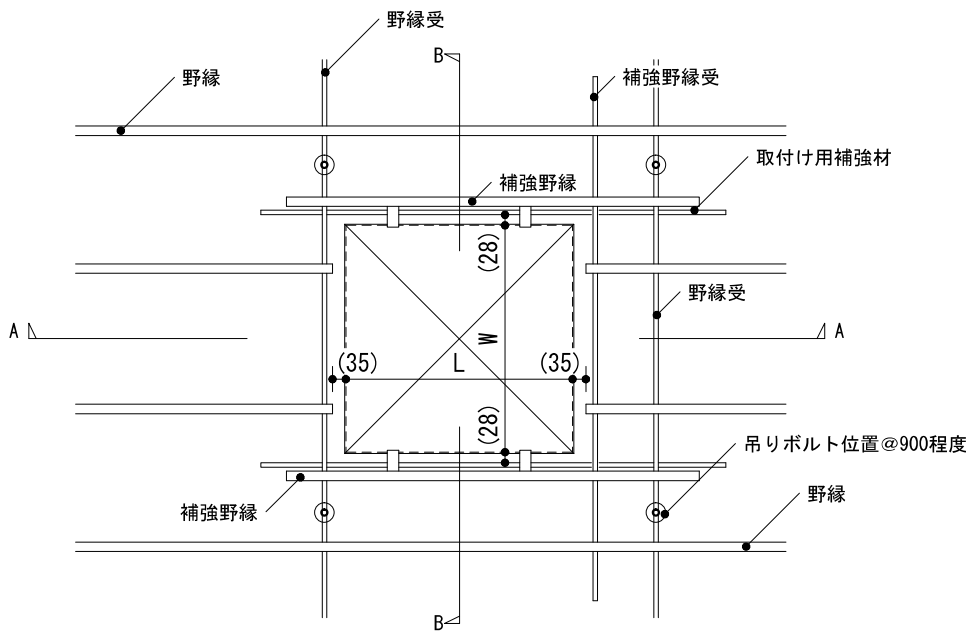


A-A断面 1/10

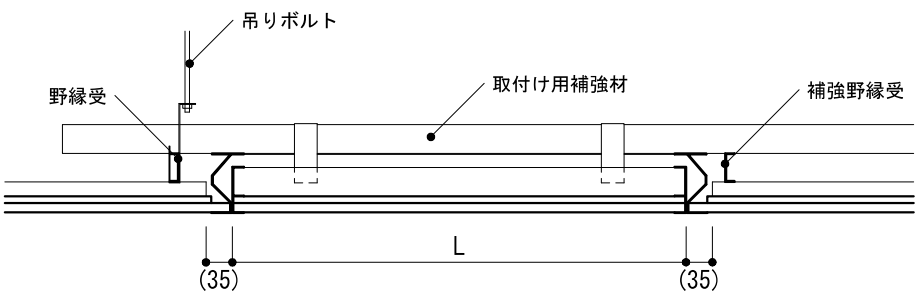


B-B断面 1/10

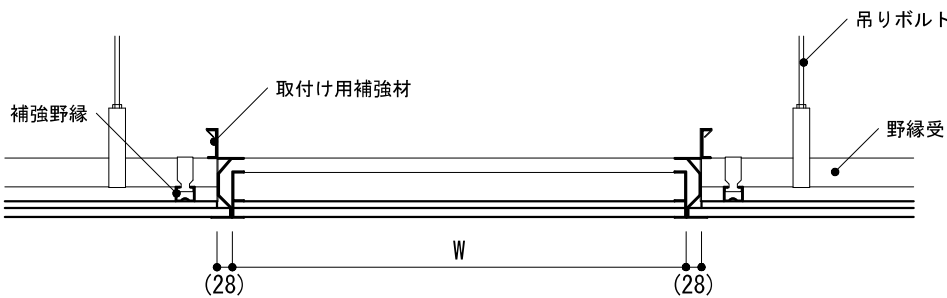
-2 天井点検口



伏図 1/20



A-A断面 1/10



B-B断面 1/10

仕様

- 補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。
- 野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。
- 天井点検口はアルミニウム製既製品とする。

特記事項

- W, L
- 野縁等の種類

図面名称

天井開口部下地補強 : 天井吹出口
天井点検口

縮尺

1/10, 1/20

建築工事標準詳細図 平成28年版

3-42

-1
形状寸法

形状及び形状番号								
木製・鋼製軽量・鋼製フラッシュ戸	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6		
	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8
	A1～A6, B1～B8の寸法は、標準型建具の場合を示す。ただし（ ）を除く。							

アルミニウム製建具・樹脂製建具	C-1＊	C-2＊	C-3	C-4	C-5	C-6
アルミニウム製建具・樹脂製建具	C-7＊	C-8＊	C-9＊	C-10	C-11	C-12＊

C形状の＊印は樹脂製建具対応形状を示す。

アルミニウム製建具・樹脂製建具	C-13＊	C-14＊	C-15	C-16	C-17	C-18	C-19
ふすま	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5		

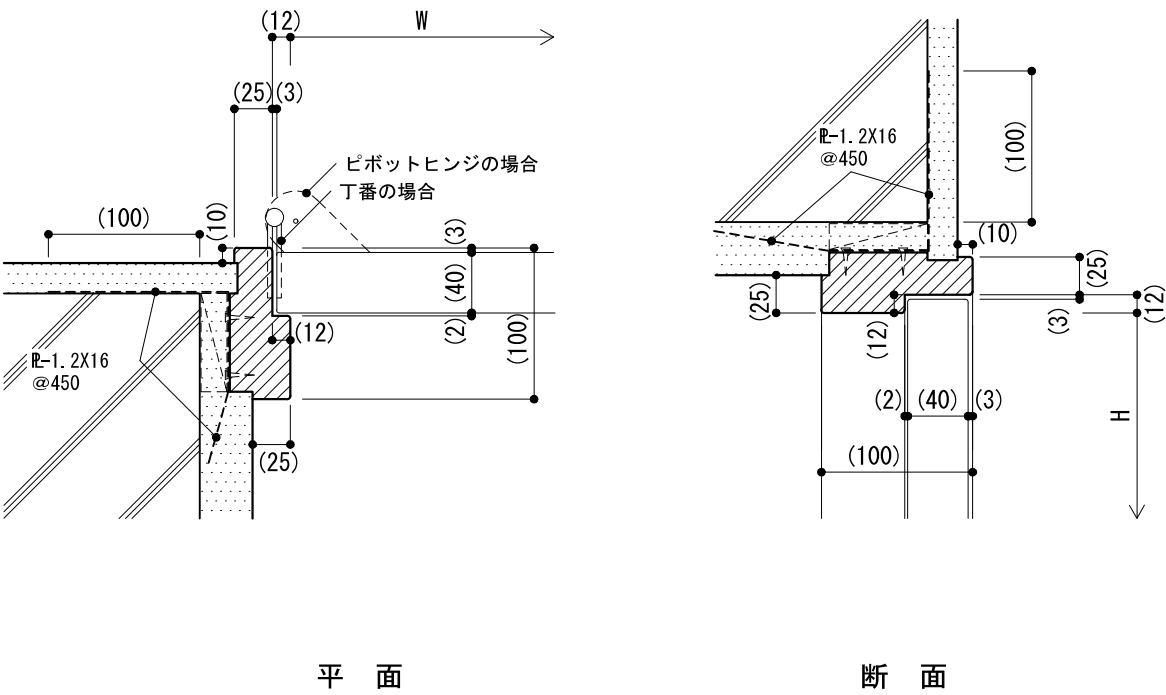
らんまの形式						扉の標準寸法			
種別	FIX（固定）	引違い	内倒し	外倒し	突き出し	開閉方法	枠の有効内り幅 W	枠の有効内り高さ H	備考
形式						片開き	900	2,000	1) 標準寸法の変更は最小限に抑える事。但し、身障者の利用する部分は枠の有効内り幅900以上とする。 2) 枠の内り高さHは床面からの高さを示し、扉の前後で段差がある場合は一般床（廊下など）からの高さとする。 3) 扉の見込み寸法は木製及び鋼製建具の場合40mm、鋼製軽量建具の場合35～40mm。 4) 親子開きの子扉の幅は300mmとする。但し、ドアクローザーを設ける必要がある場合は350mm以上とする。 5) 点検用扉等で、WxHの小さなものは見込み30mm程度とする。
							950	2,100	
						親子開き	1,200	2,000	
							1,250	2,100	
						両開き	1,800	2,000	
							1,900	2,100	
開口率	約30%	約35%	約25%			片開き	600	1,900	

扉がらり及び窓がらりの形式を示す。

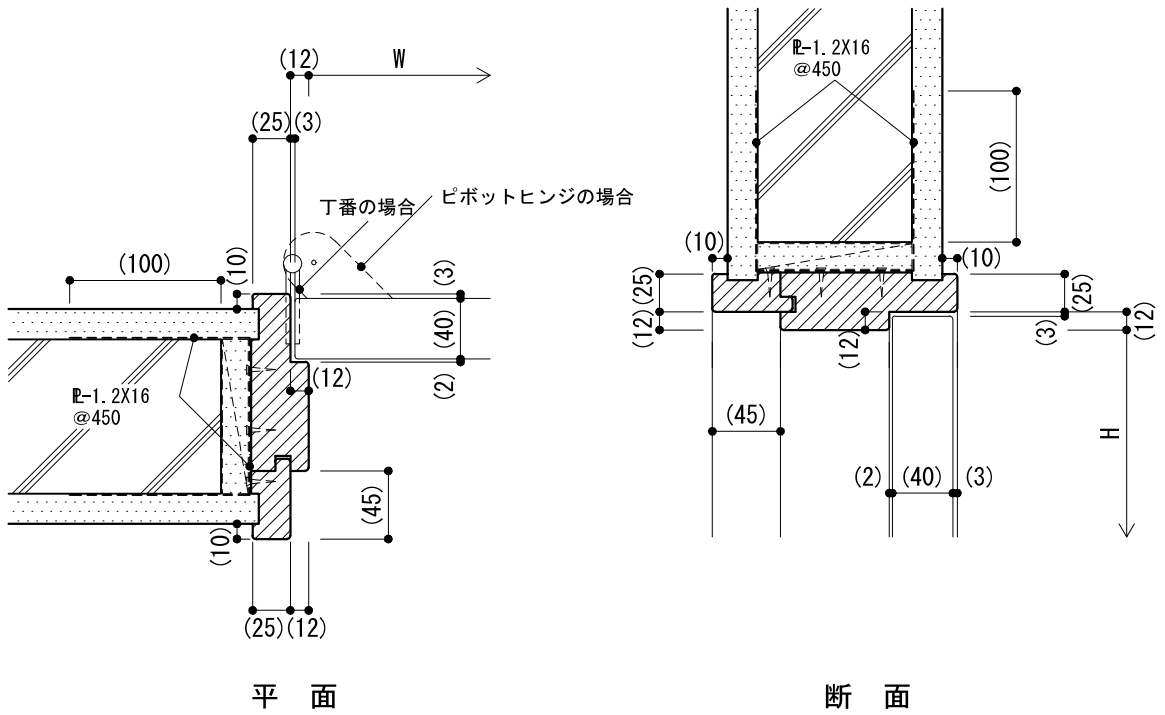
開き戸の標準を示す。引違い、片引き、両引きなどの場合はこれに準ずる。

仕様	特記事項 1) 木製、鋼製及びアルミニウム製の種別 2) 形状, W, W ₁ , H, H ₁ 3) C-1～-6, C-17～-19で、らんまを設ける場合のH ₂ , らんまの形式 4) C-1～-6を連窓とする場合のW(総巾) 5) A-4～-6, B-4～-6, -8のがらりの形式及び開口率, W ₃ H ₃	図面名称		建具：形状寸法	
		縮尺			
		建築工事標準詳細図 平成28年版		4-01	

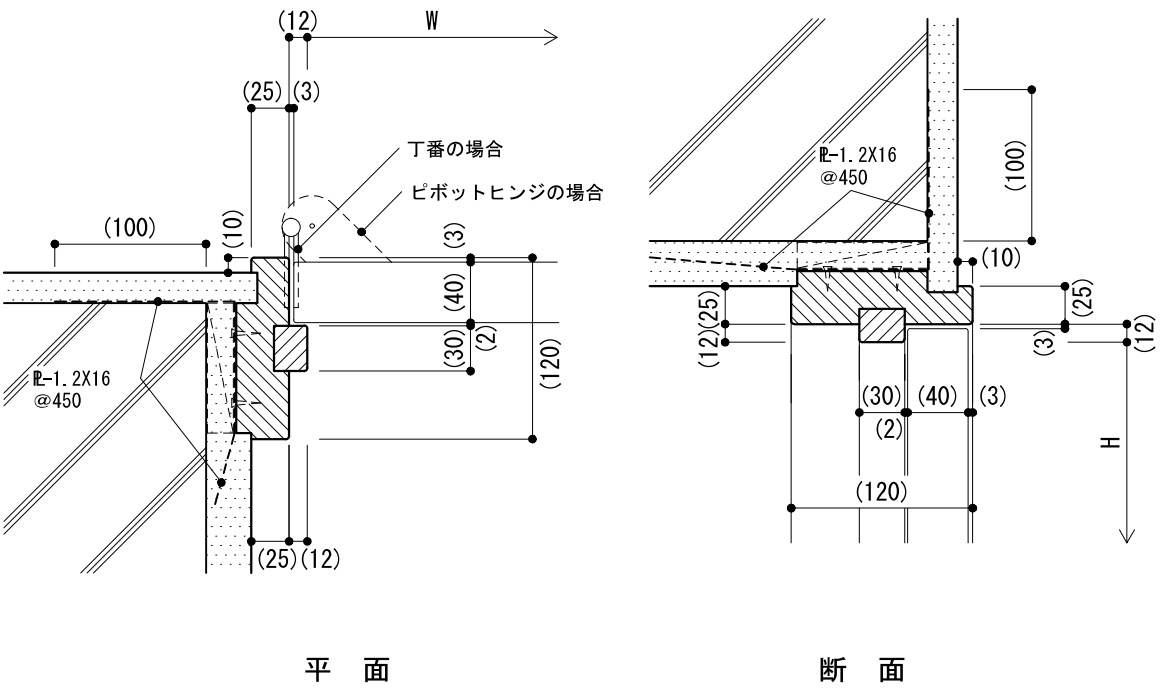
-1 木製建具枠



-2 木製建具枠



-3 木製建具枠

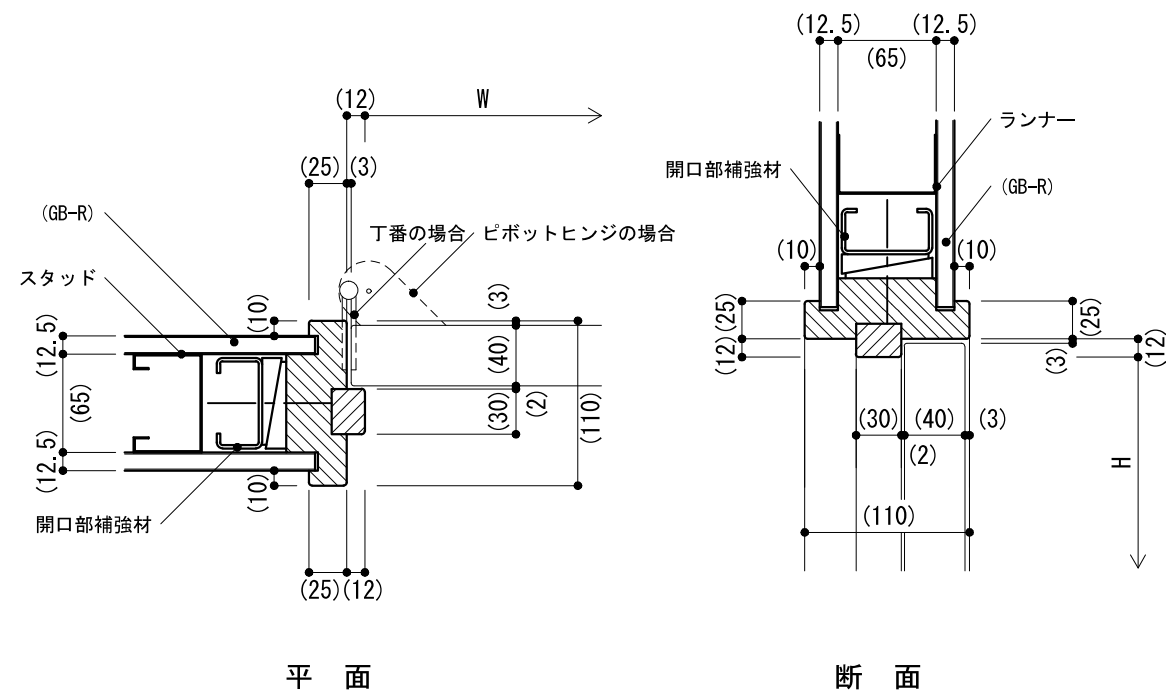


仕様
1) R-1.2×16の躯体への留め付けはコンクリート釘等で各面2箇所留め付ける。

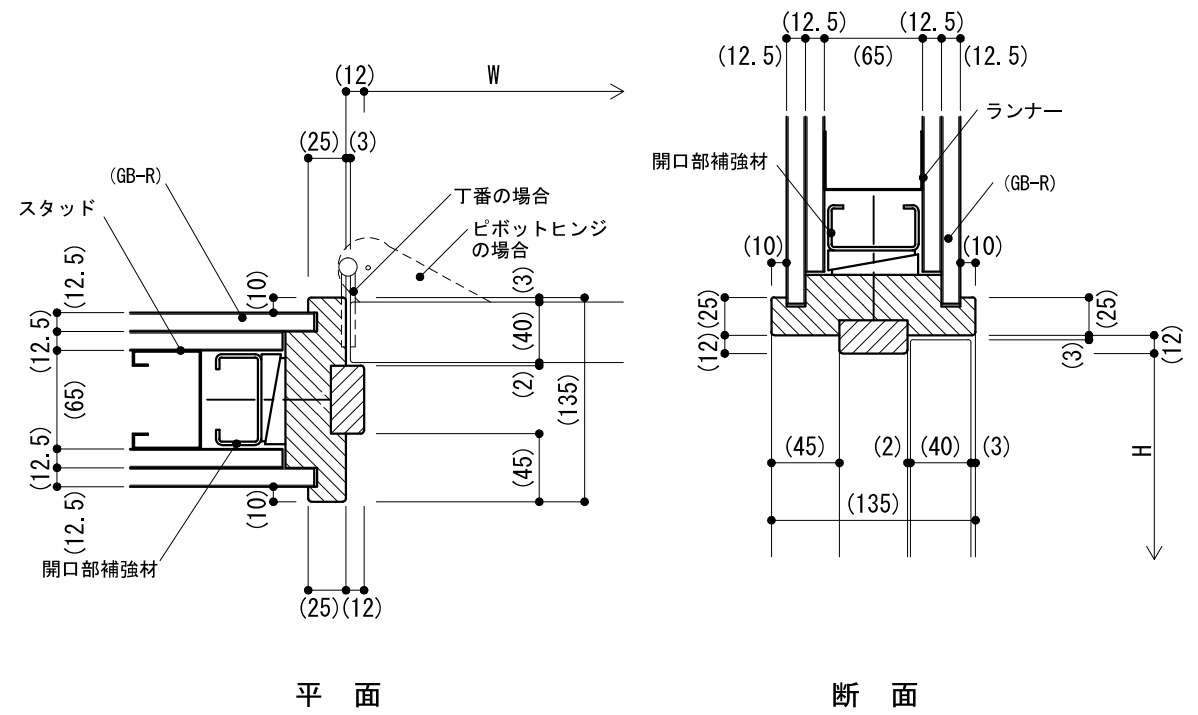
特記事項
1) 枠の塗装の種別
2) 扉の見込み寸法

図面名称	建具取合い：木製建具 (コンクリート壁の場合)	
縮 尺	1/5	4-11
建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 木製建具枠



-2 木製建具枠



仕様

- 1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
- 2) 取付けは、公共標仕(建)表12.4.1による。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 扉の見込み寸法

図面名称

建具取合い：木製建具
(軽量鉄骨壁の場合)

縮尺

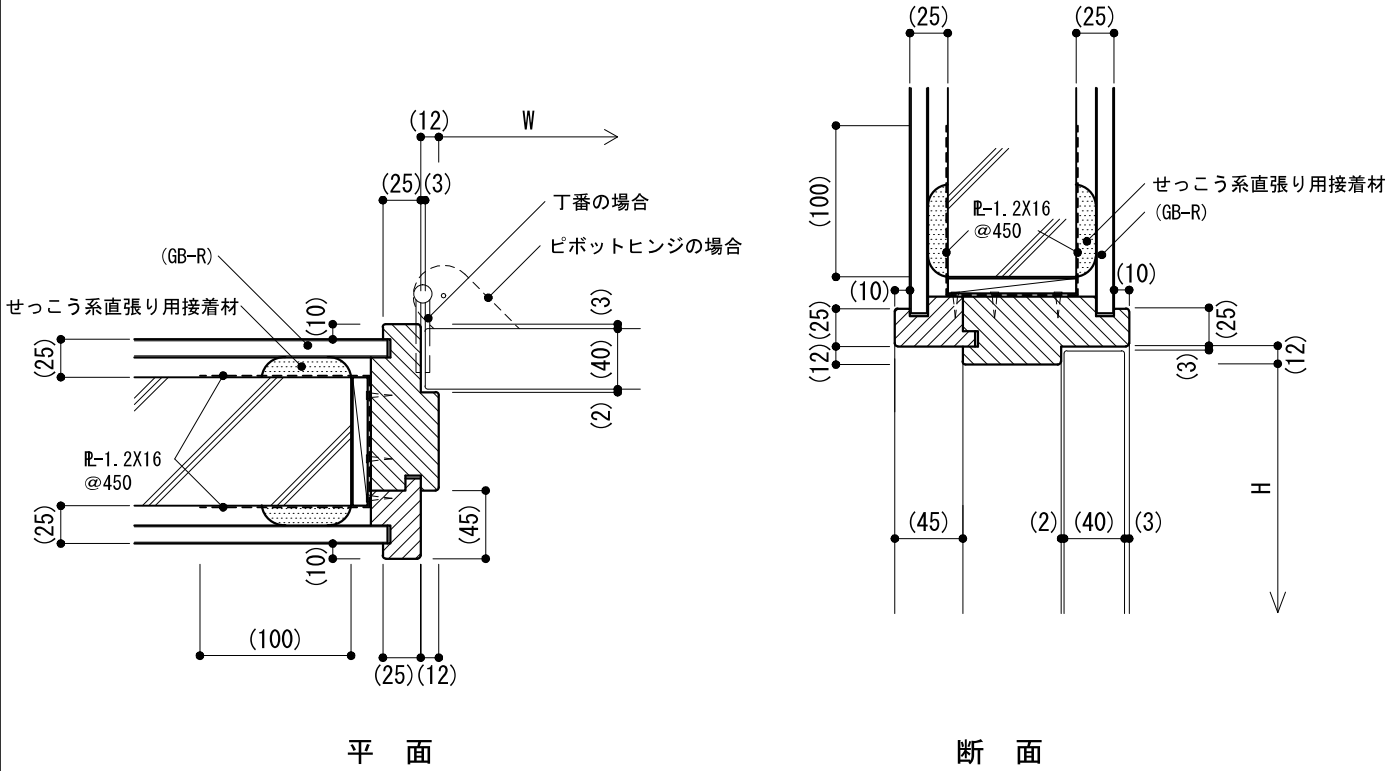
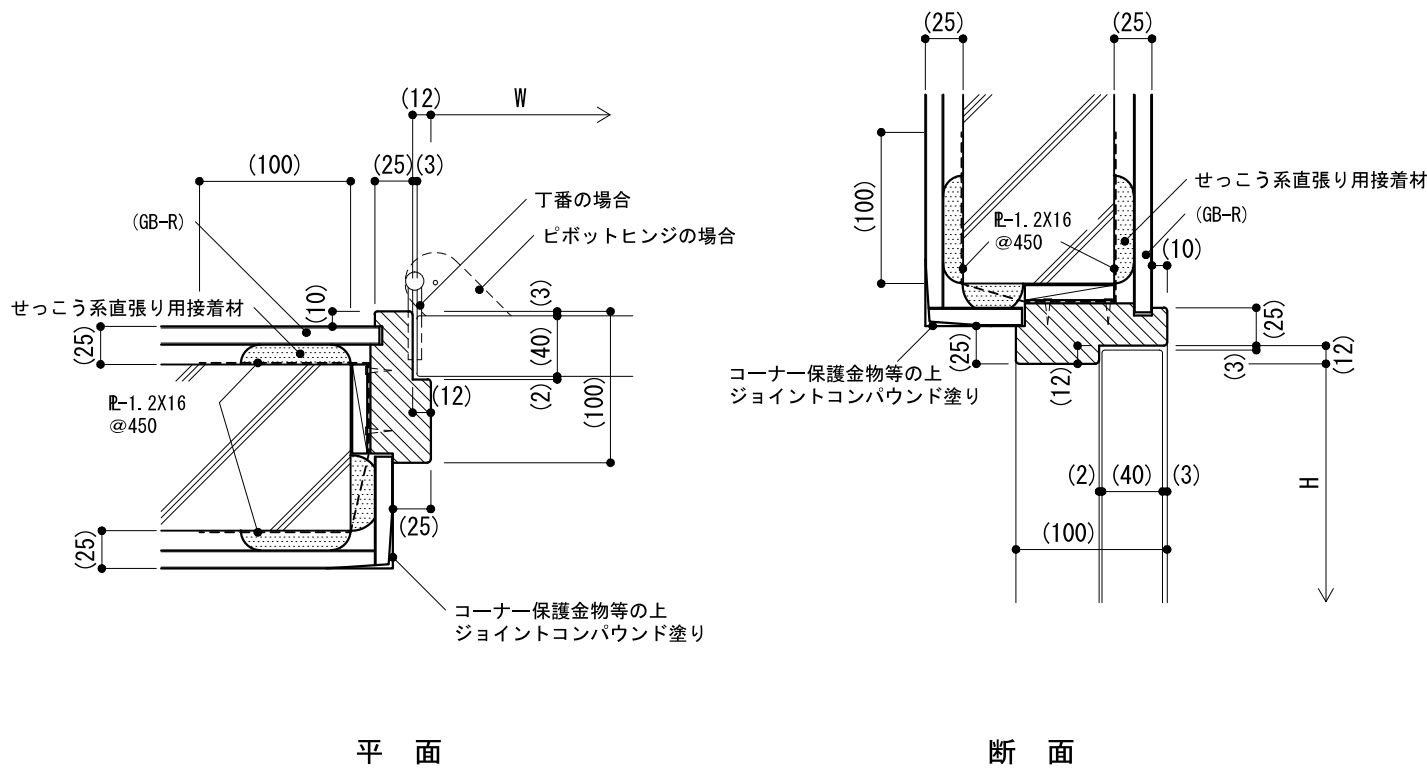
1/5

建築工事標準詳細図 平成28年版

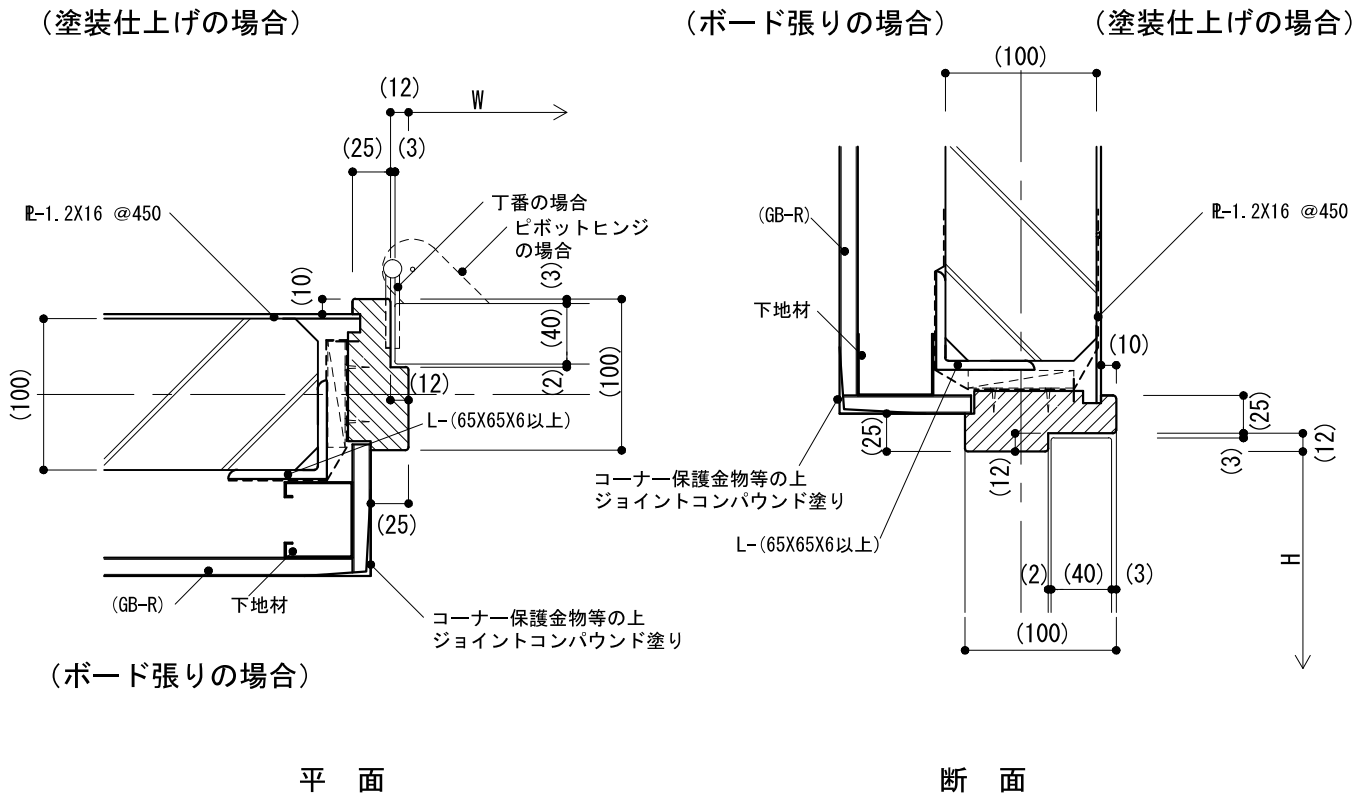
4-12

-1 木製建具枠

-2 木製建具枠



-3 木製建具枠



仕様

1) R-1.2×16の留め付けは、-1, -2 コンクリート壁には、コンクリート釘等で各面2箇所留め付け、-3 ALCパネルにはアングルに溶接とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種類
- 2) 扉の見込み寸法
- 3) 下地材の種類

図面名称

建具取合い：木製建具
(直張り工法及びALCパネルの場合)

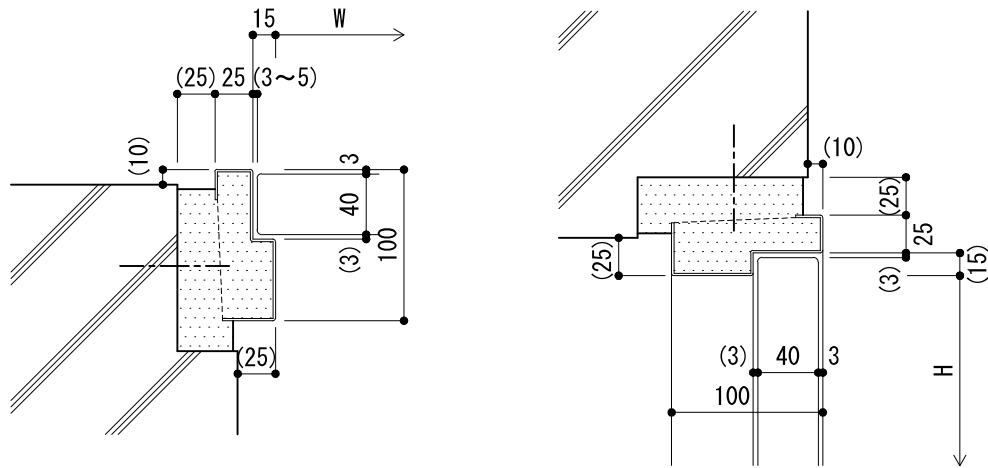
縮尺

1/5

建築工事標準詳細図 平成28年版

4-13

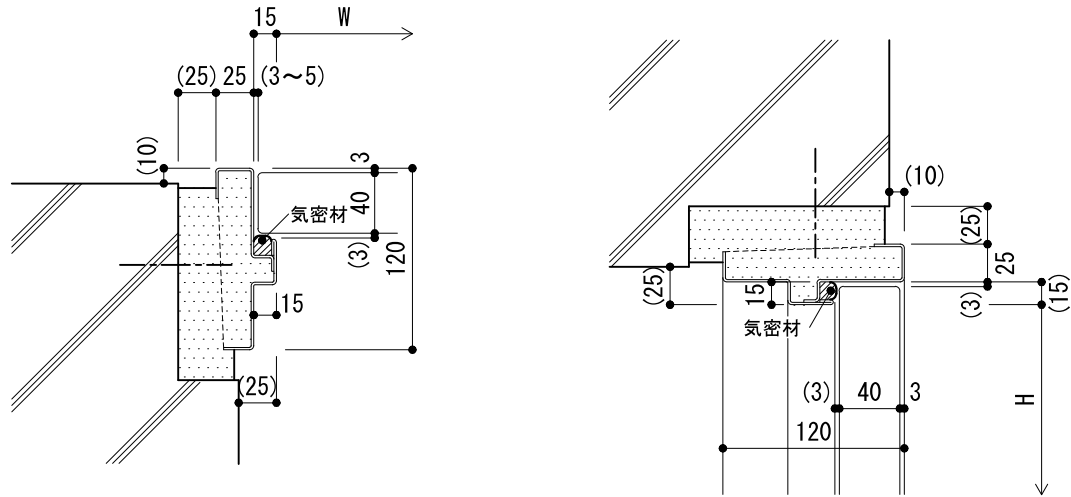
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



平面

断面

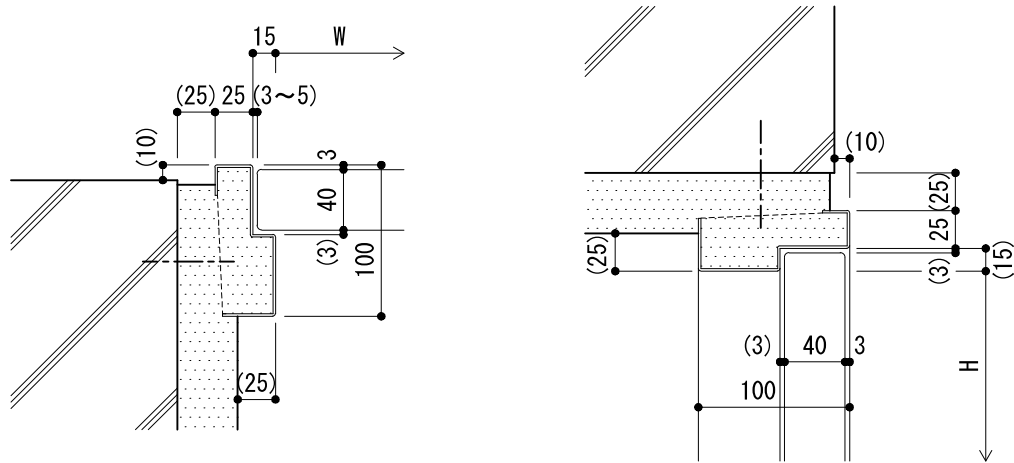
-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



平面

断面

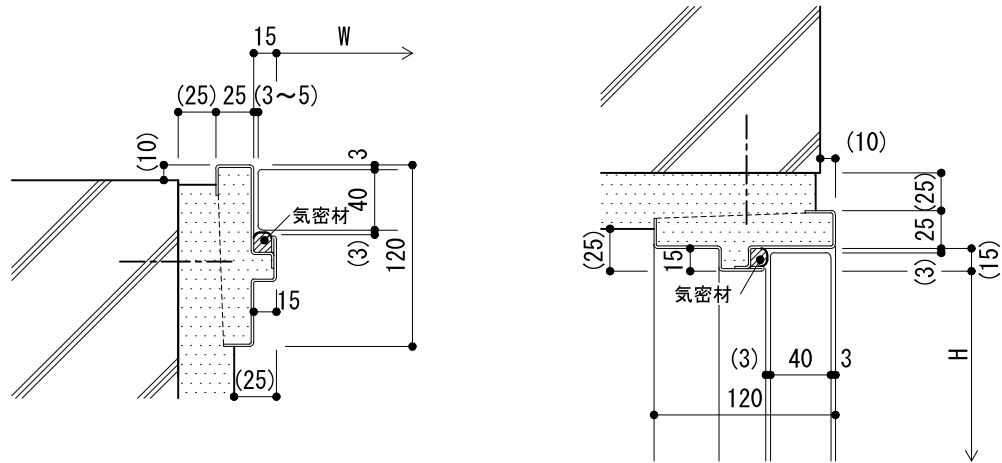
-3 標準型建具枠(鋼製建具)



平面

断面

-4 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



平面

断面

仕様

- 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 2) 標準型建具の寸法は4-01による。

特記事項

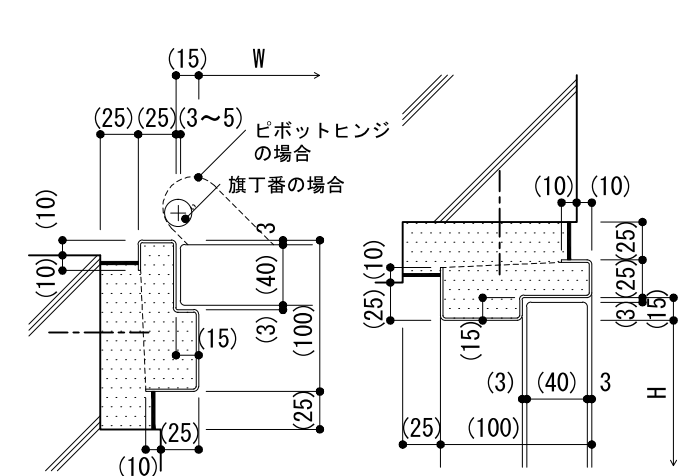
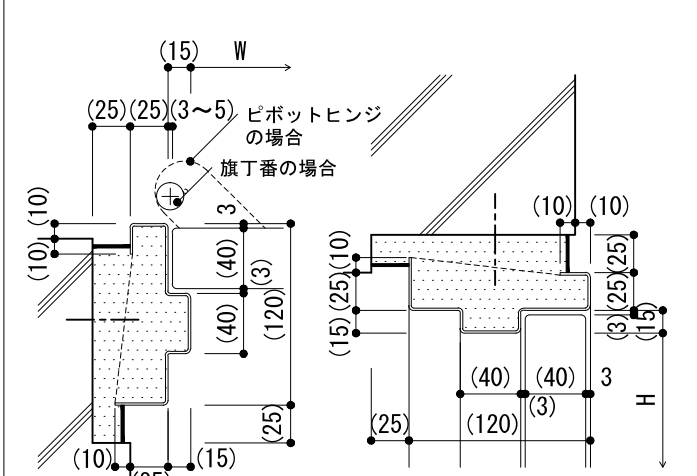
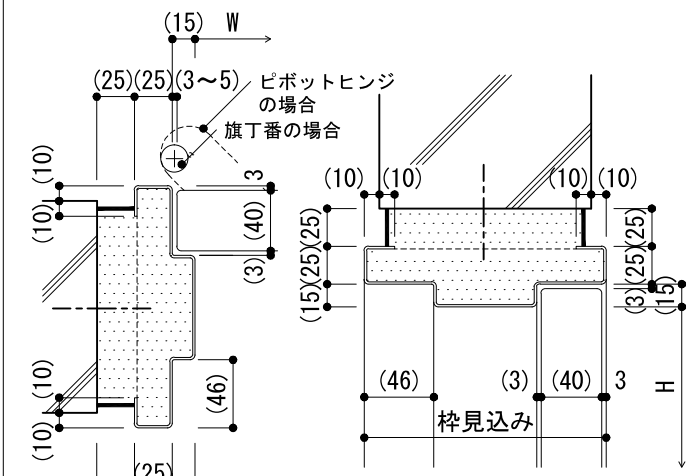
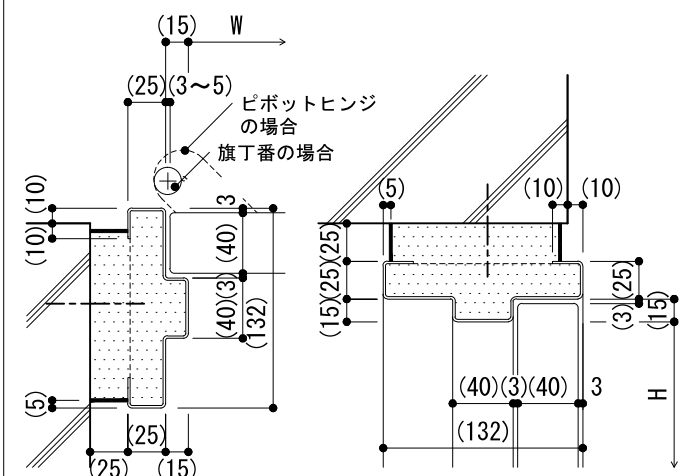
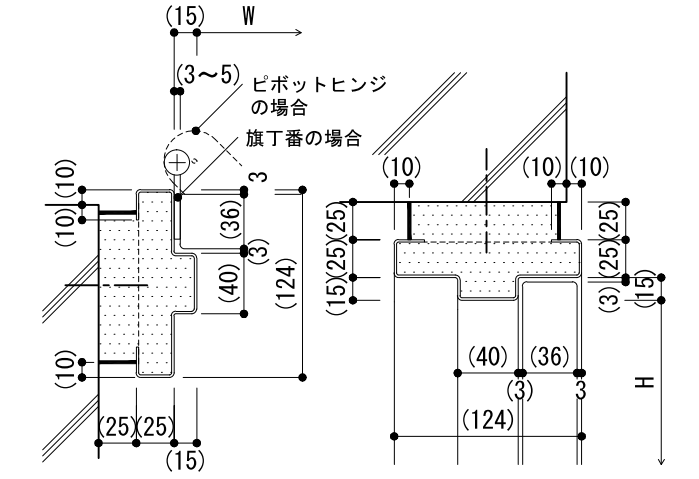
- 1) 枠の塗装の種別

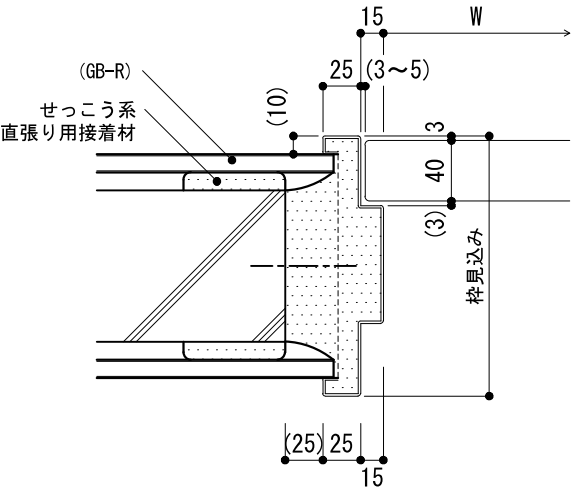
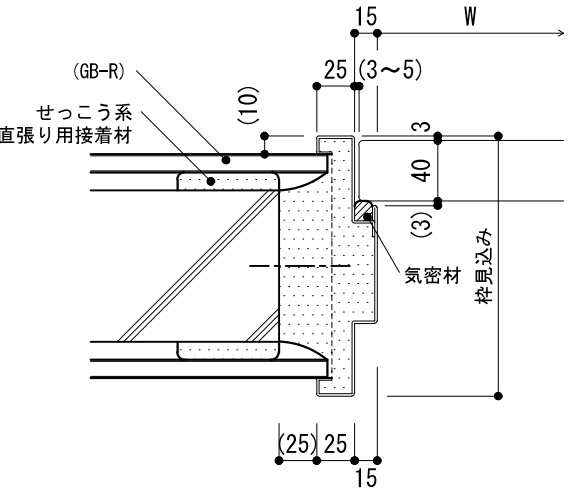
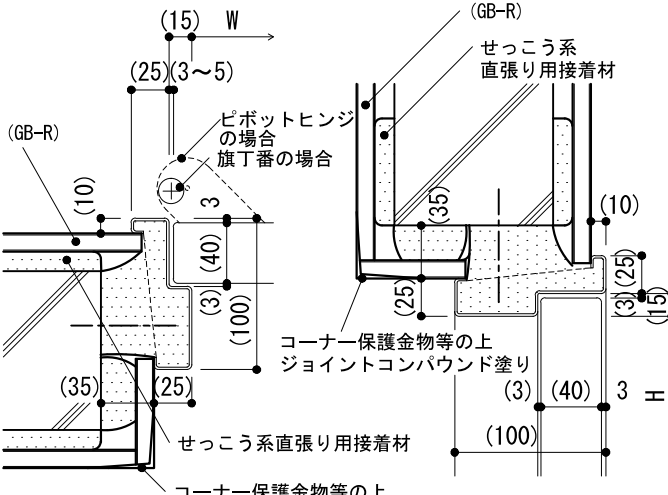
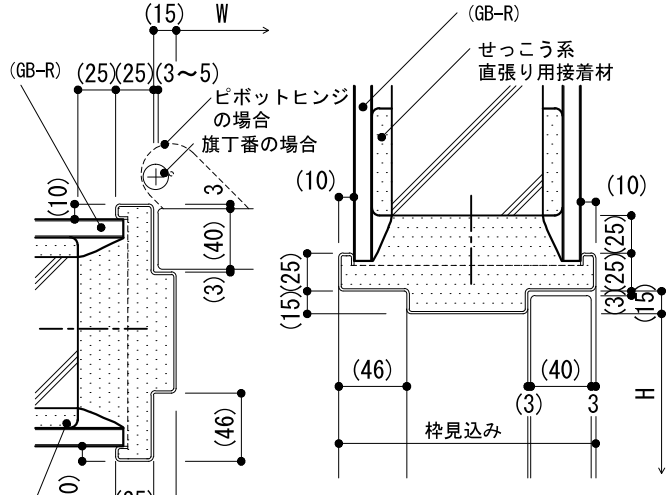
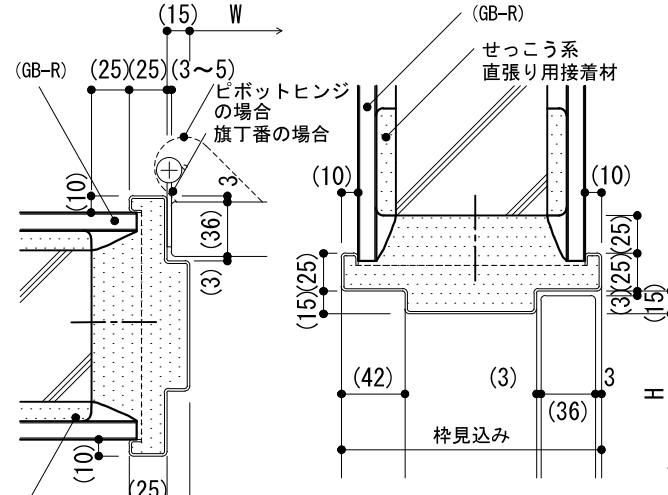
図面名称 建具取合い：標準型鋼製建具
(コンクリート壁打放し仕上げの場合)

縮尺 1/5

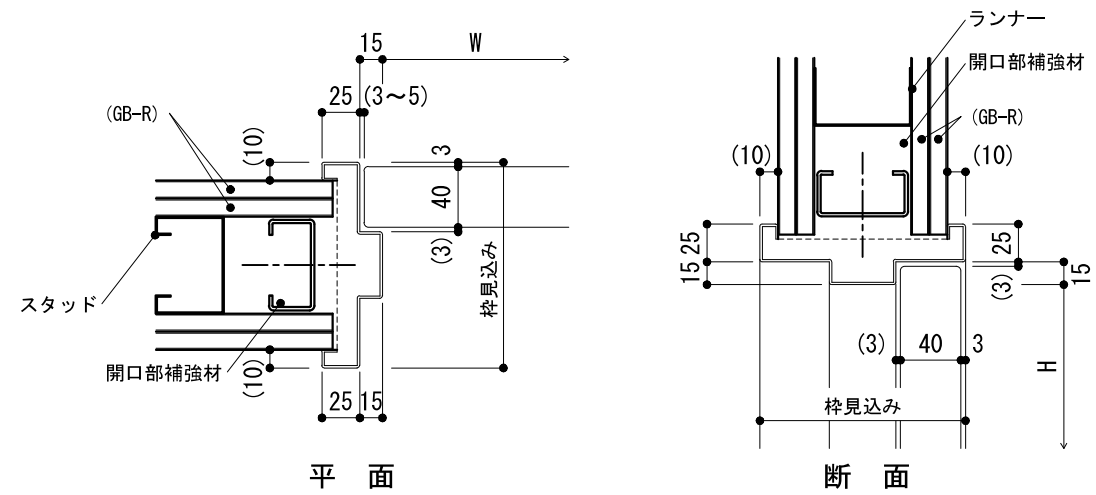
建築工事標準詳細図 平成28年版

4-21

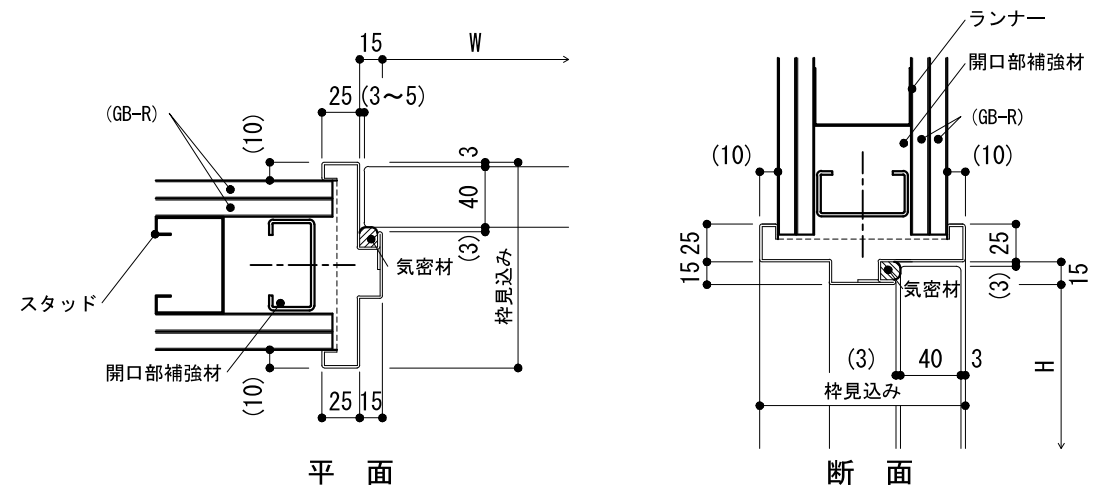
-1 鋼製建具枠  平面 断面	-2 鋼製建具枠  平面 断面	-3 鋼製建具枠  平面 断面	-4 鋼製建具枠  平面 断面									
-5 鋼製軽量建具枠  平面 断面												
仕様 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。 2) -1～-5で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。 3) 順位調整器を取付ける場合の戸当り見込みは、45mmとすることができる。	特記事項 1) 枠の塗装の種別 2) 鋼板類の厚さ (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)		<table><tr><td>図面名称</td><td colspan="2">建具取合い：鋼製建具,鋼製軽量建具 (コンクリート壁打放し仕上げの場合)</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1/5</td><td rowspan="2">4-22</td></tr><tr><td colspan="3">建築工事標準詳細図 平成28年版</td></tr></table>	図面名称	建具取合い：鋼製建具,鋼製軽量建具 (コンクリート壁打放し仕上げの場合)		縮 尺	1/5	4-22	建築工事標準詳細図 平成28年版		
図面名称	建具取合い：鋼製建具,鋼製軽量建具 (コンクリート壁打放し仕上げの場合)											
縮 尺	1/5	4-22										
建築工事標準詳細図 平成28年版												

-1 標準型建具枠(鋼製建具)		-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)	
			
平面 断面		平面 断面	
-3 鋼製建具枠	-4 鋼製建具枠	-5 鋼製軽量建具枠	
			
平面 断面	平面 断面	平面 断面	
仕様 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。 2) 標準型建具の寸法は4-01による。 3) -3, -4で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。	特記事項 1) 枠の塗装の種別 2) 鋼板類の厚さ (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)		図面名称 建具取合い： 鋼製建具,鋼製軽量建具 (直張り工法の場合) 縮 尺 1/5 建築工事標準詳細図 平成28年版

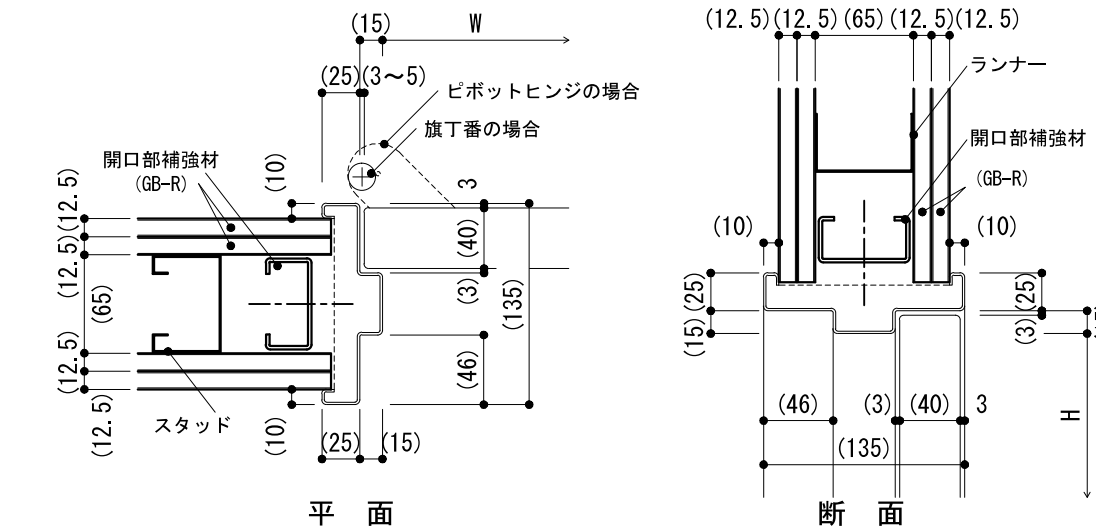
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



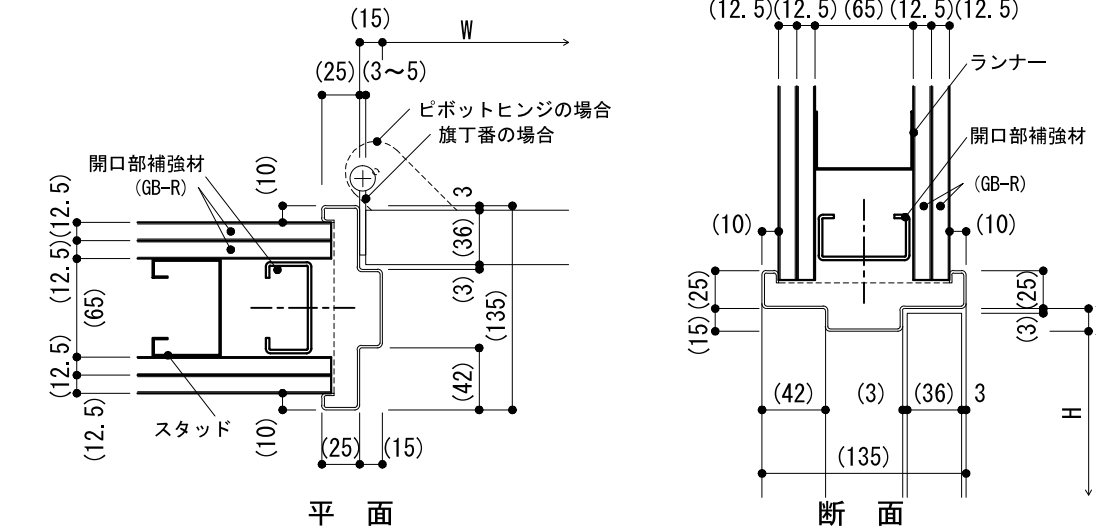
-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



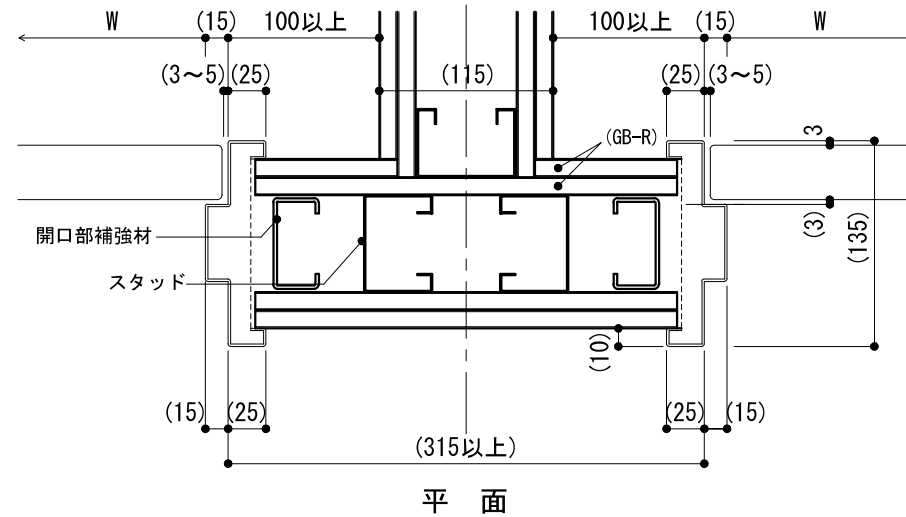
-3 鋼製建具枠



-4 鋼製軽量建具枠



-5 T型壁部 建具枠納まり



仕様

- 1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
- 2) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 3) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 4) -3で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)

図面名称

建具取合い：鋼製建具、鋼製軽量建具
(軽量鉄骨壁の場合)

縮尺

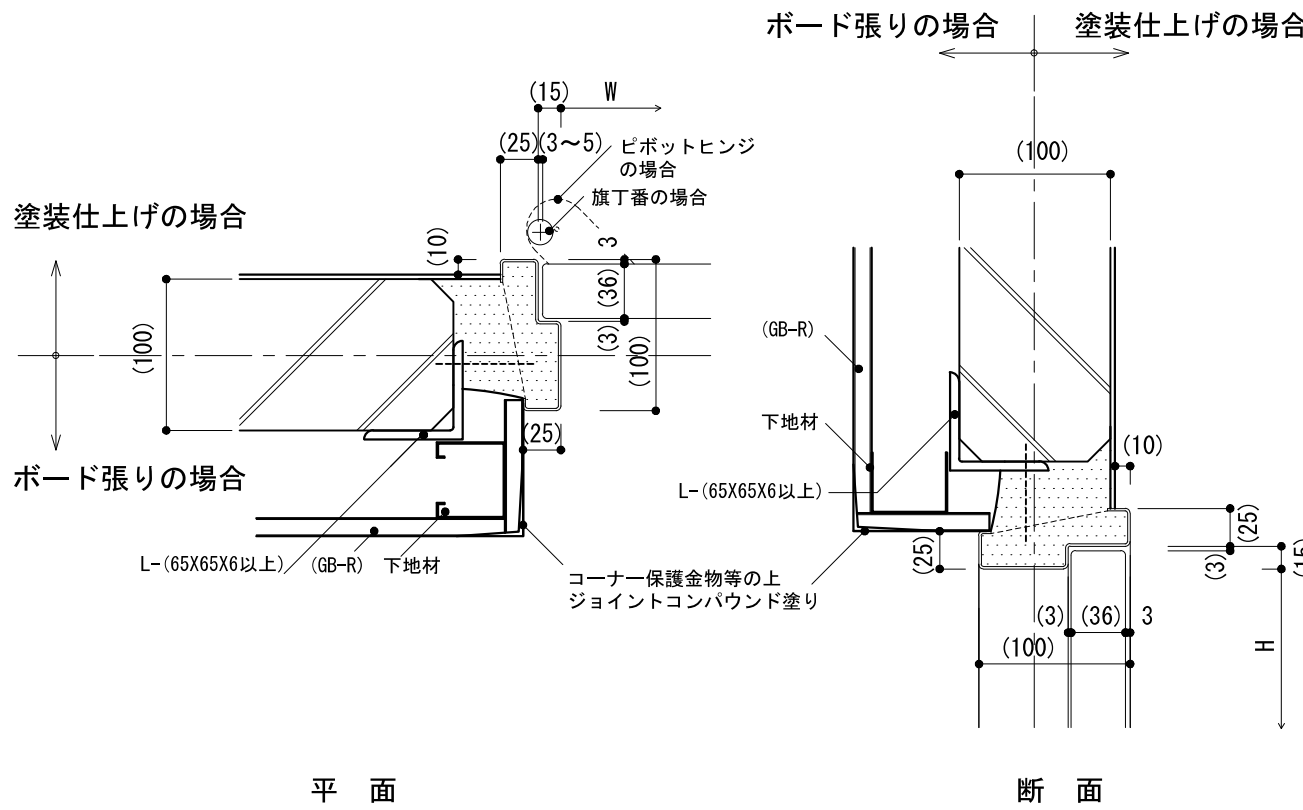
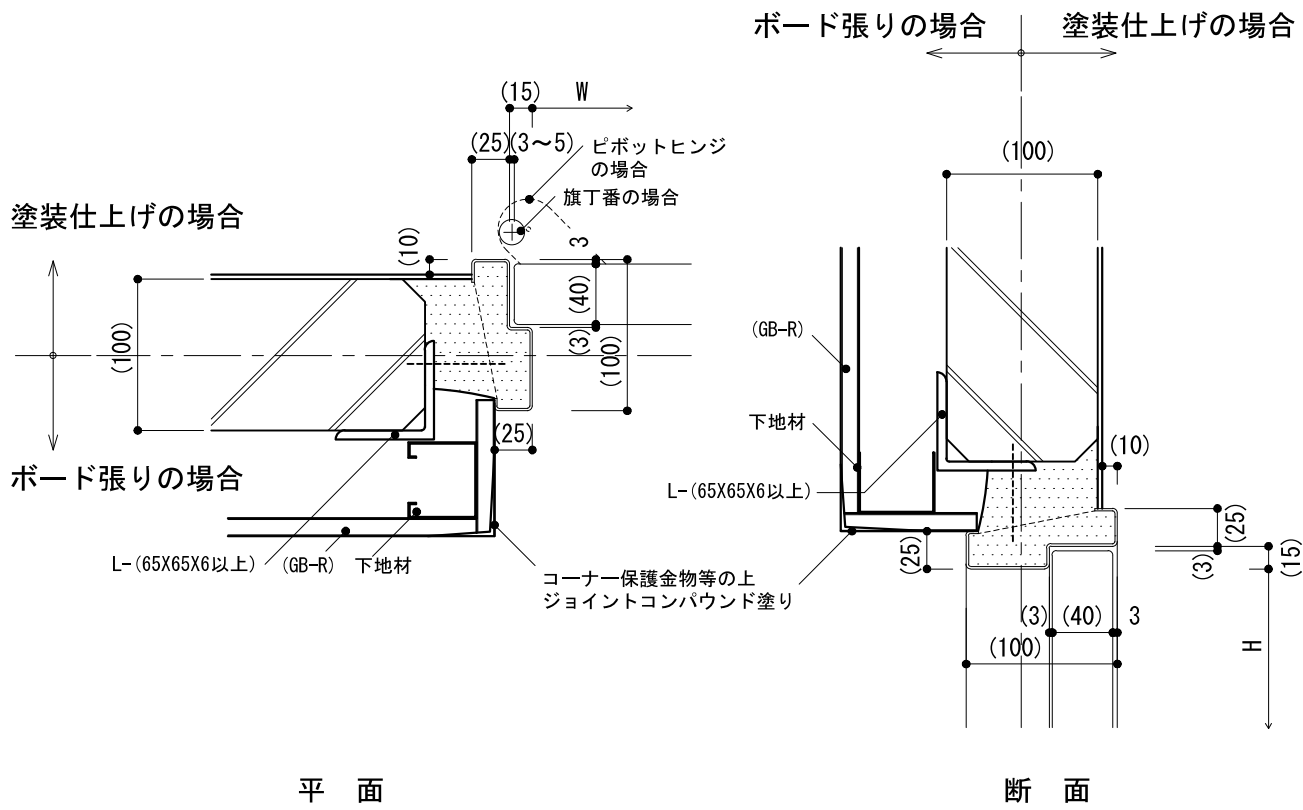
1/5

建築工事標準詳細図 平成28年版

4-24

-1 鋼製建具枠

-2 鋼製軽量建具枠



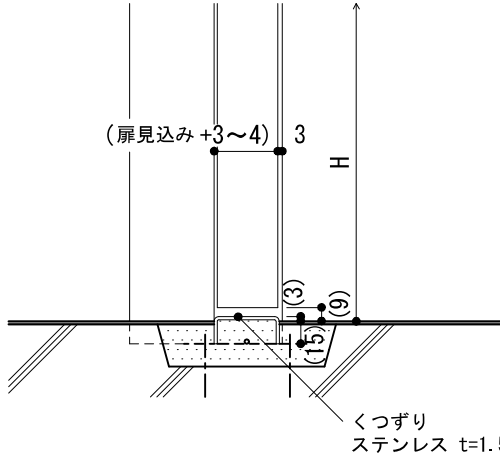
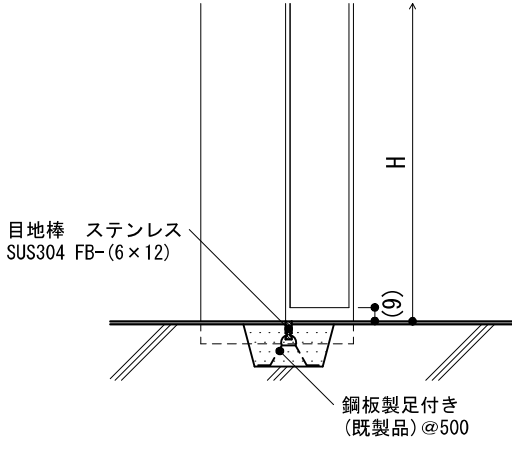
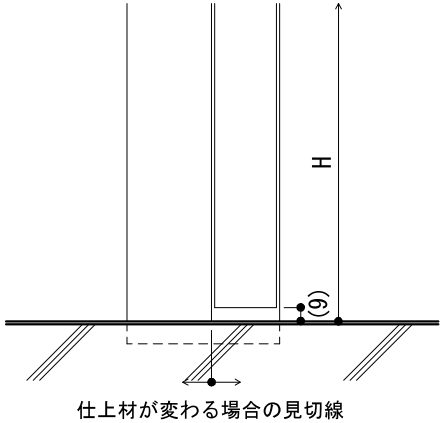
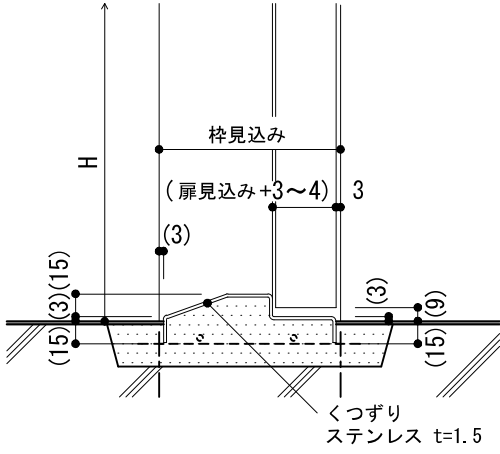
仕様

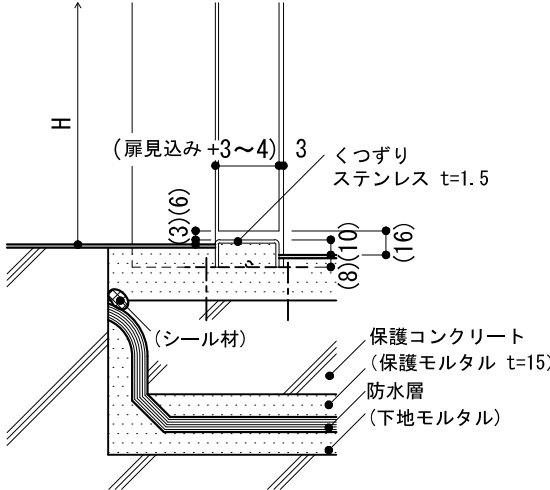
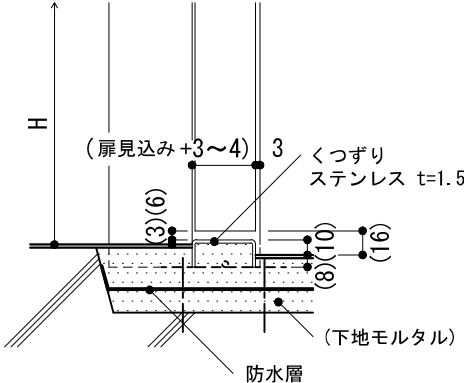
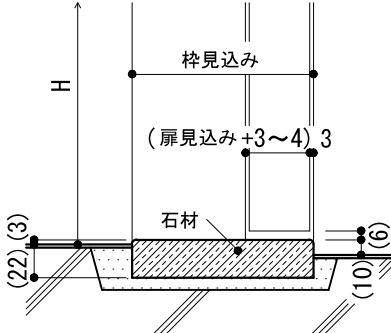
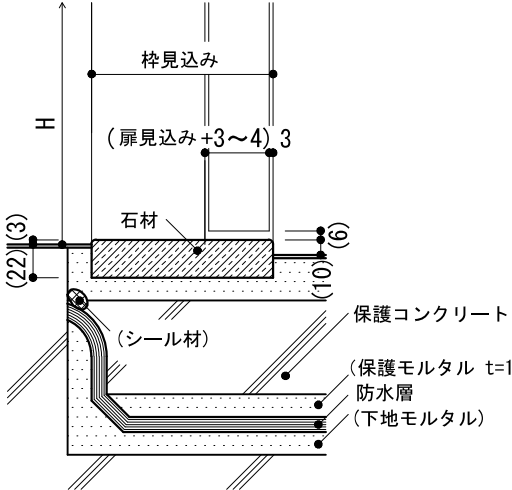
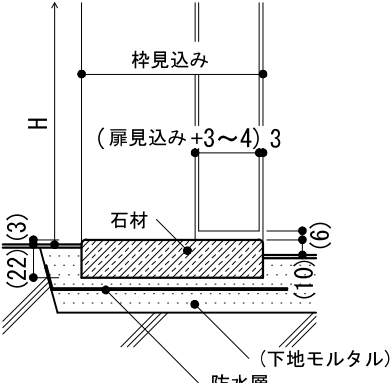
- 1) ALCパネルは、公共標仕(建)表8.4.3のE種を表わしている。
- 2) 戸当たりゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 3) -1で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) 下地材の種類

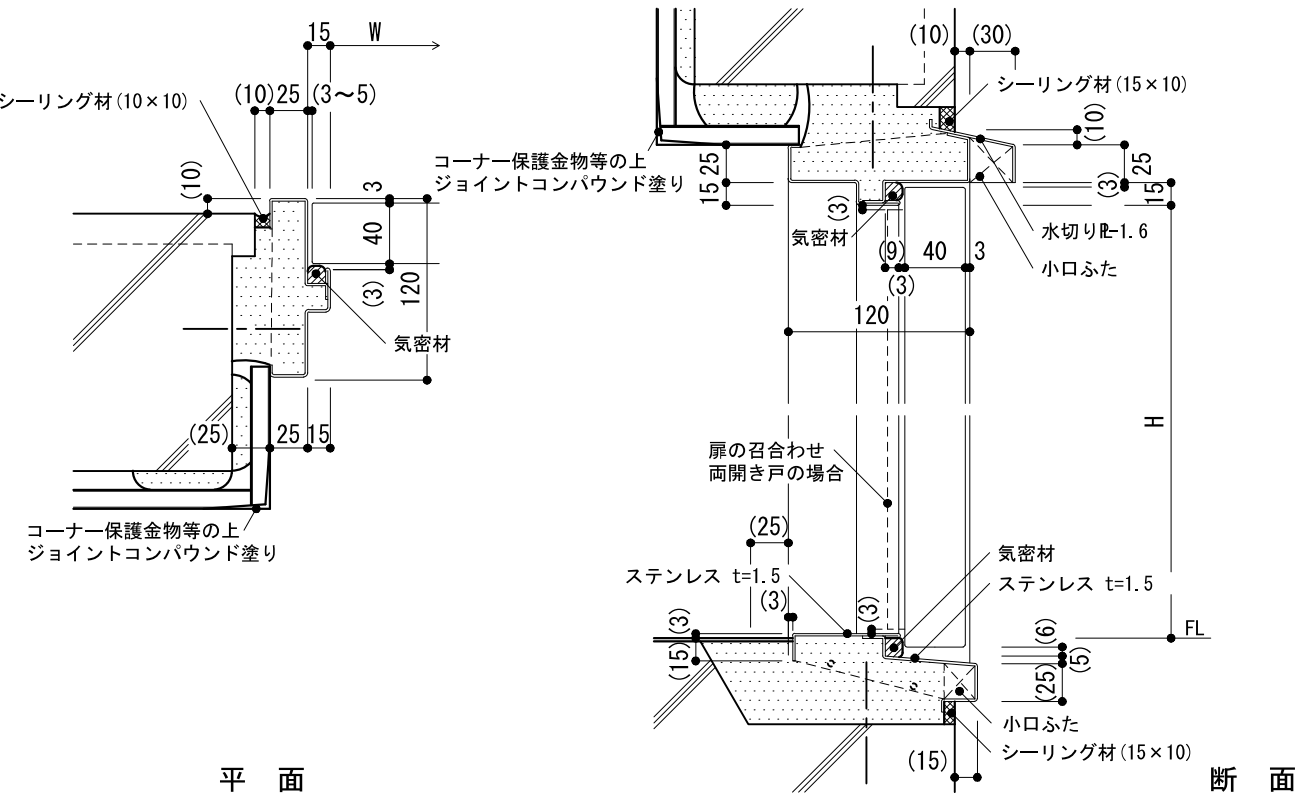
図面名称	建具取合い： 鋼製建具, 鋼製軽量建具 (ALCパネルの場合)	
縮 尺	1/5	4-25
建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 くつずり	-2 目地棒	-3 くつずり、目地棒なしの場合	-4 くつずり
			

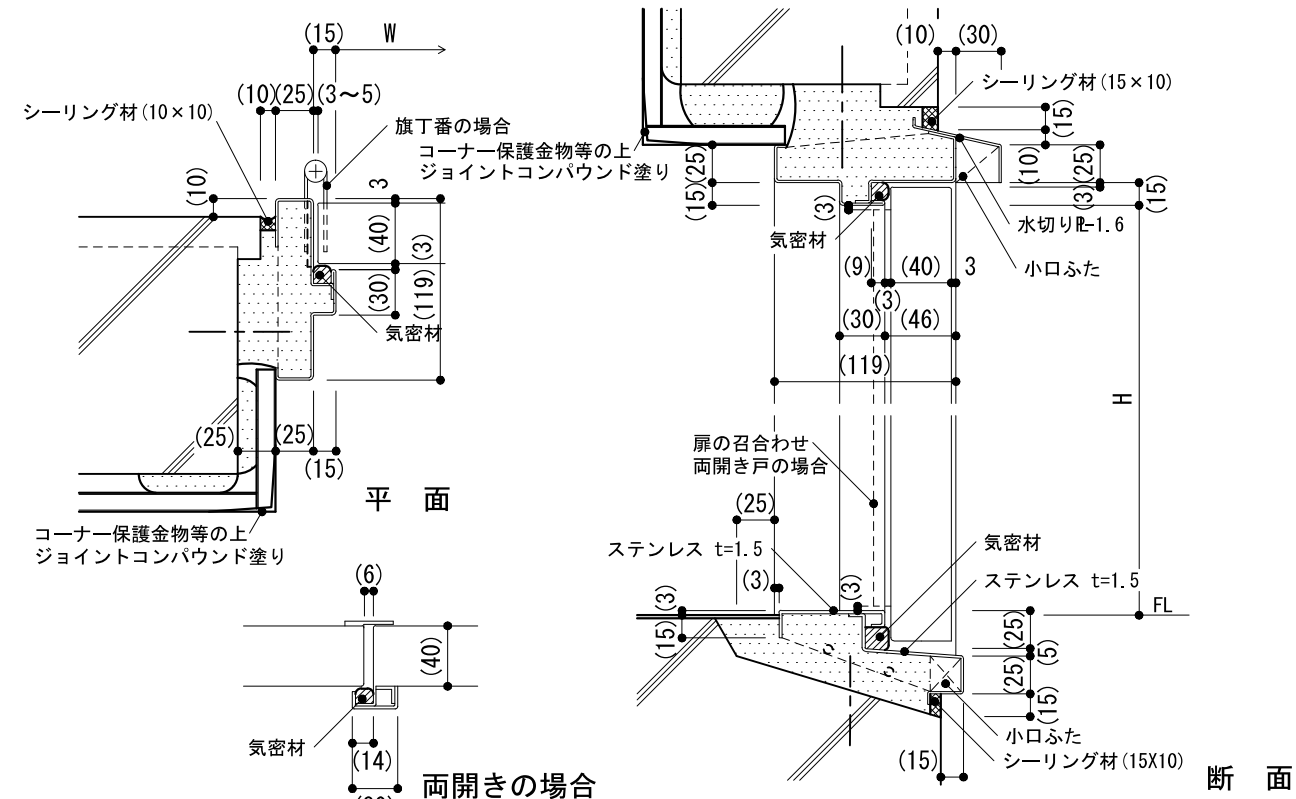
-5 くつずり(便所、湯沸室など)	-6 くつずり(便所、洗面所など)
アスファルト防水の場合  塗膜防水、 合成高分子系ルーフィングシート防水 (屋内保護密着工法) の場合 	防水なしの場合  アスファルト防水の場合  塗膜防水、 合成高分子系ルーフィングシート防水 (屋内保護密着工法) の場合 

仕様	特記事項	図面名称	建具取合い	内部用くつずり等
	1) -1, -4, -5のくつずり厚さ、種別 (片開き, 親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合) 2) -1, -4, -5のステンレスの種別 3) -6の石材の種別, 表面仕上げ 4) -5, -6の防水層の種別	縮 尺	1/5	4-31
		建築工事標準詳細図 平成28年版		

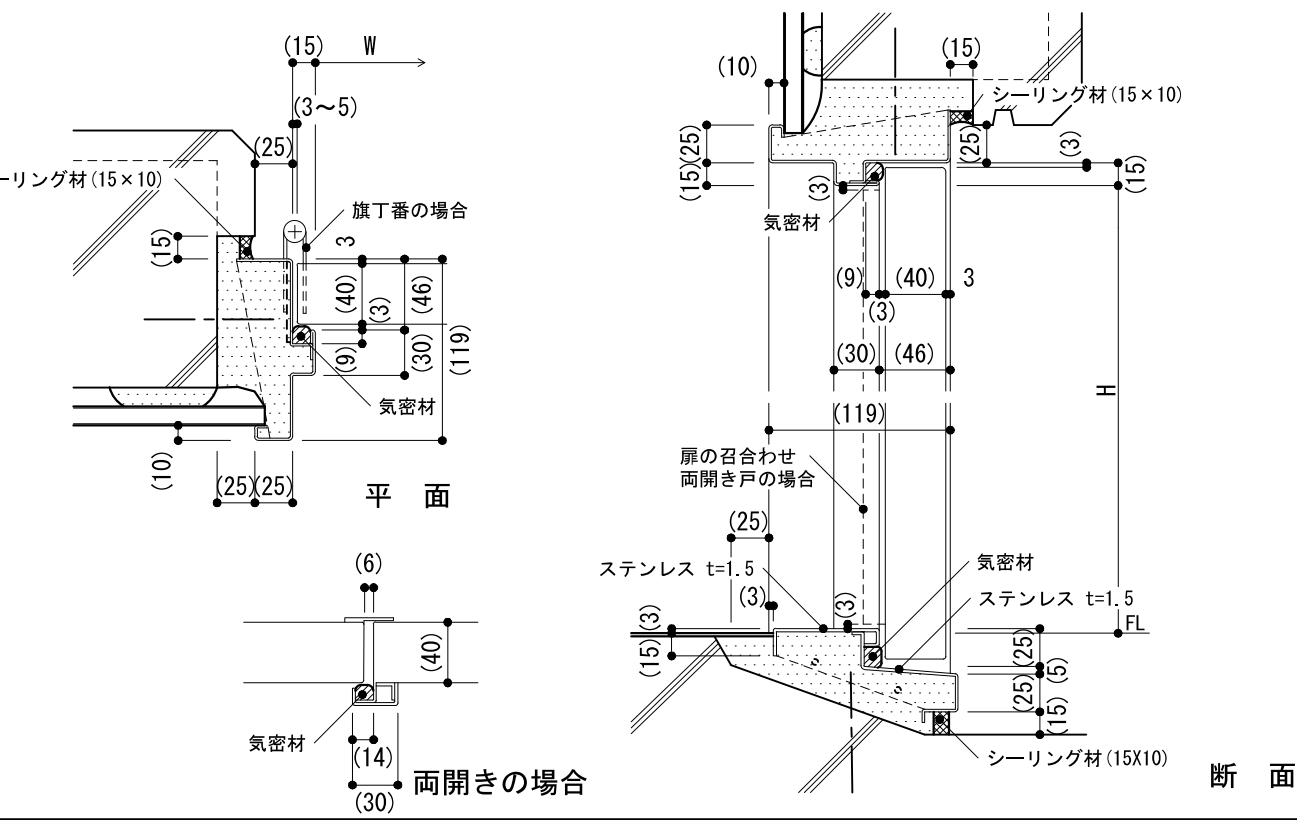
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



-2 簡易気密型鋼製建具枠



-3 簡易気密型鋼製建具枠



仕様

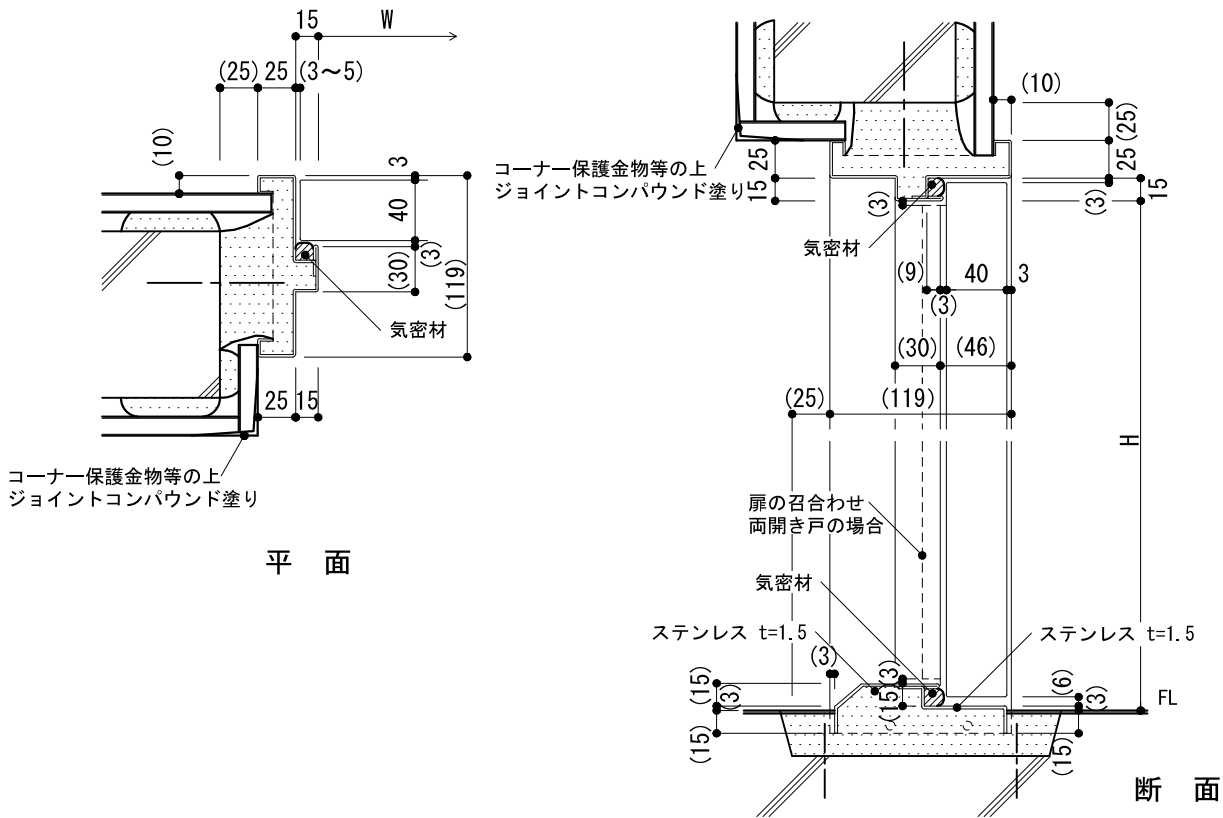
- 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2) -2,-3で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。

特記事項

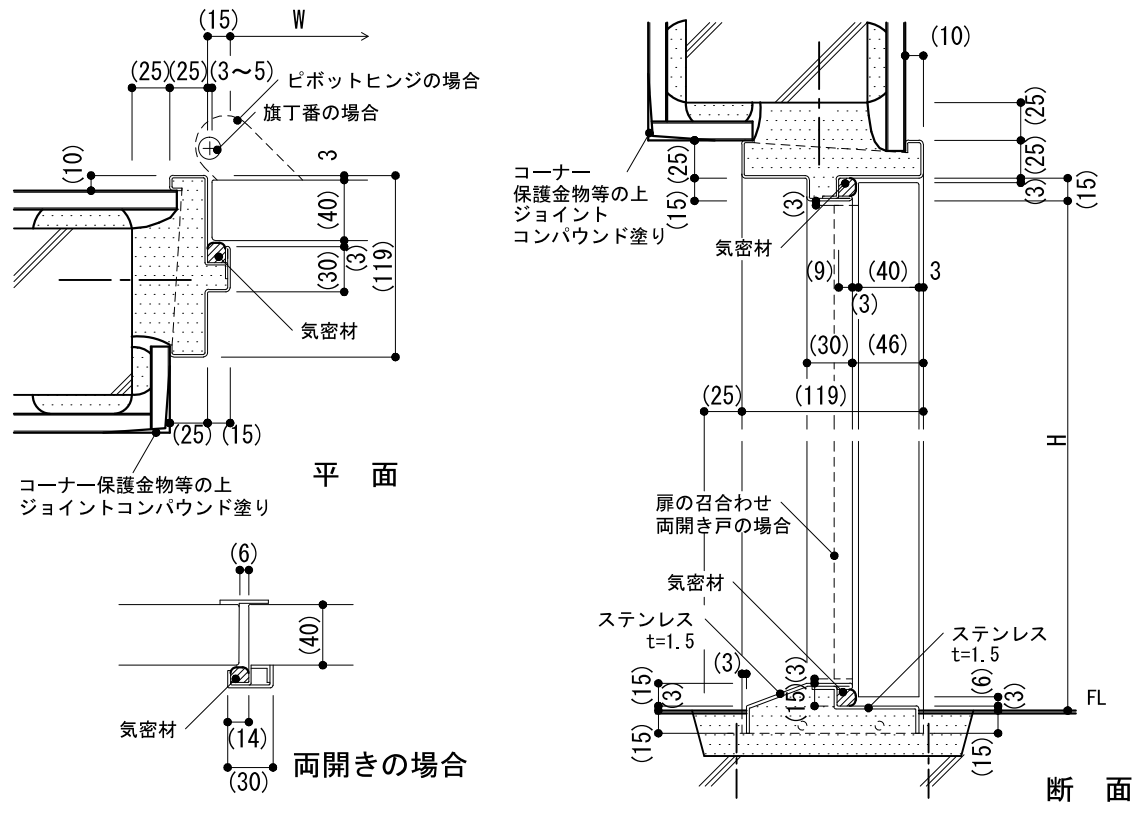
- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) ステンレスの種別

図面名称	建具取合い:簡易気密型鋼製建具(外部用) (内部直張り工法の場合)	
縮 尺	1/5	4-43
建築工事標準詳細図 平成28年版		

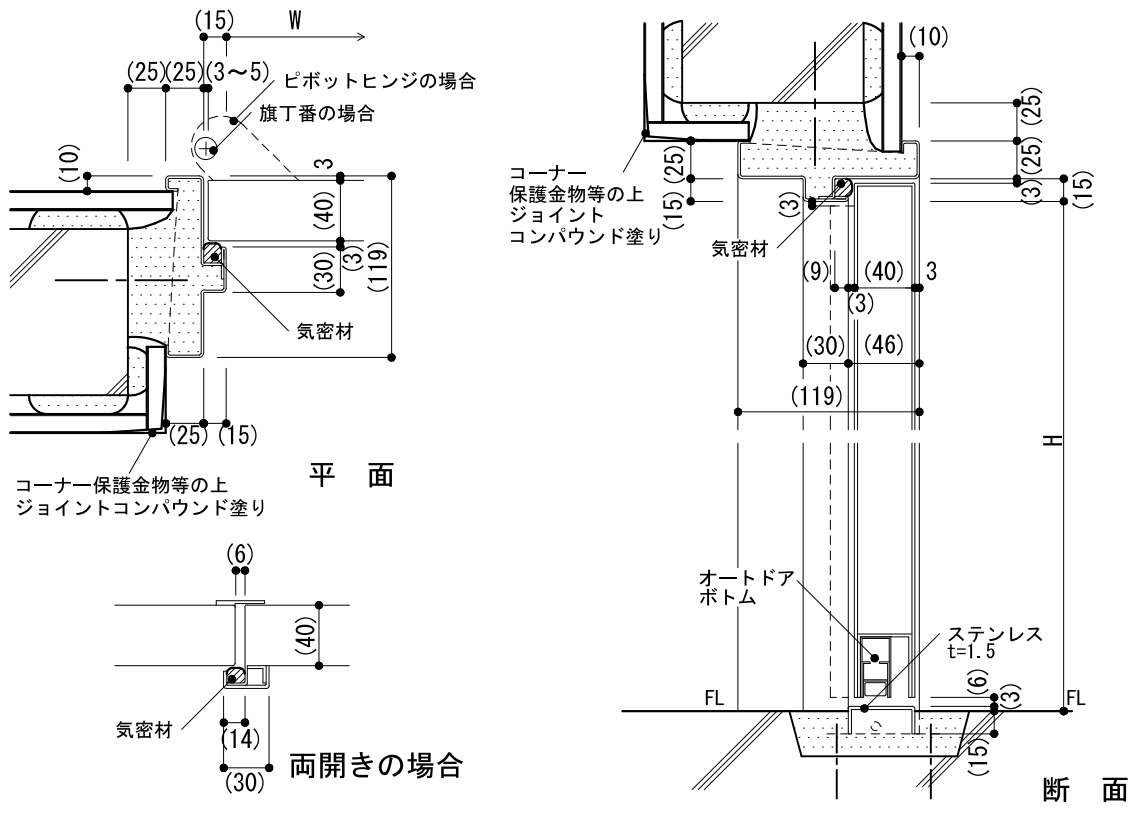
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



-2 簡易気密型鋼製建具枠



-3 簡易気密型鋼製建具枠(オートドアボトム納まり)



仕様

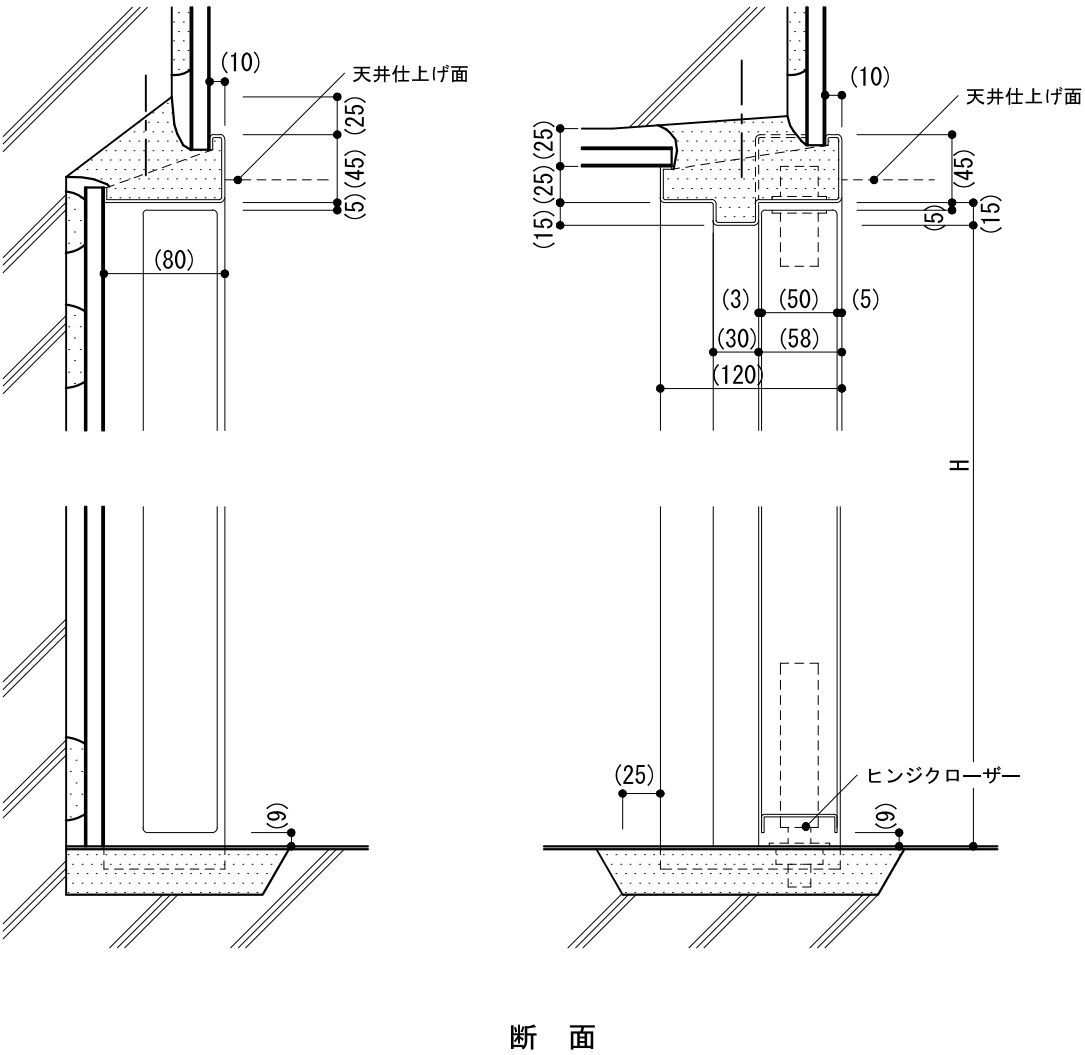
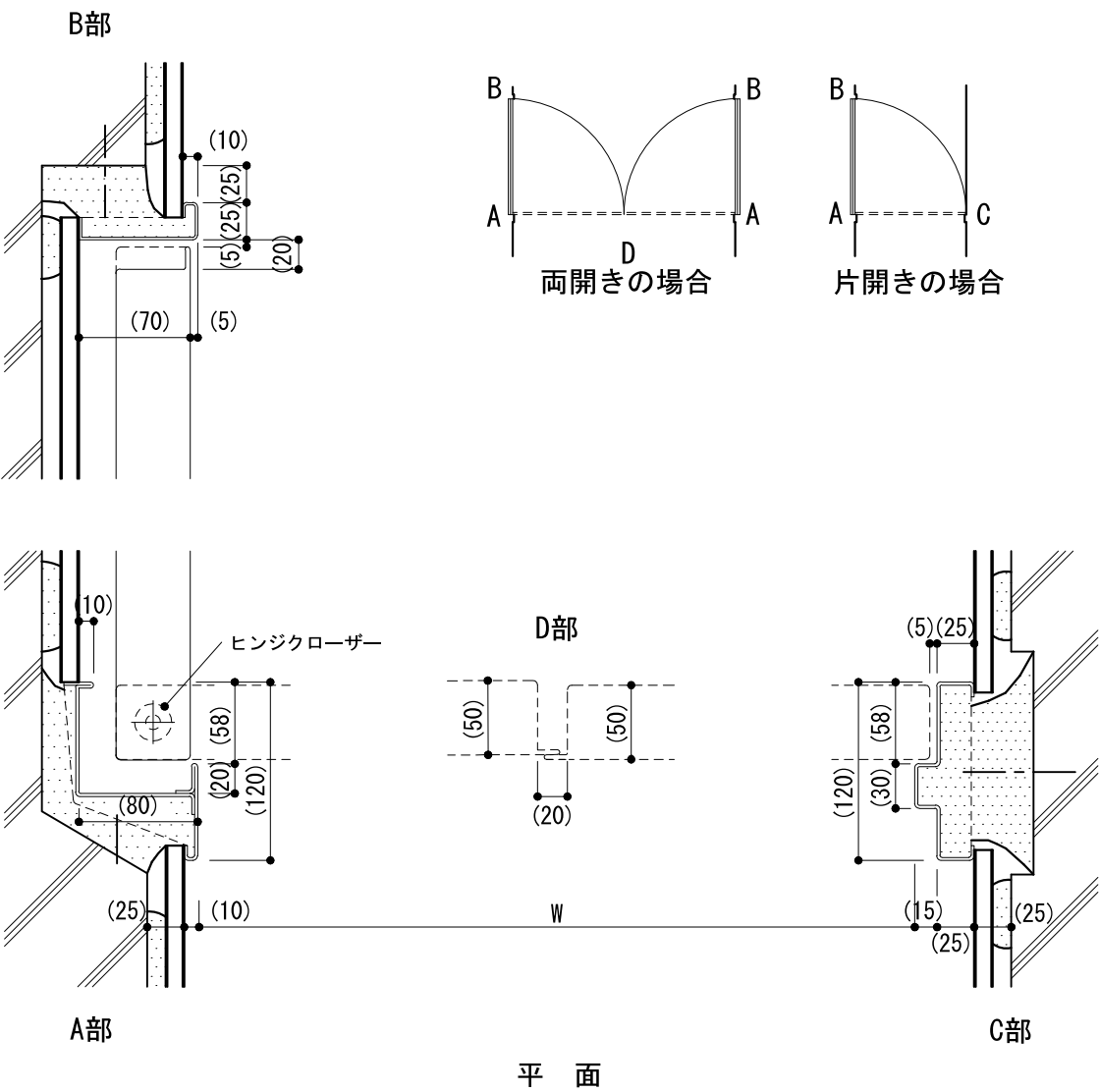
- 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2) -2で旗丁番を使用する場合は、掘込み・面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) ステンレスの種別

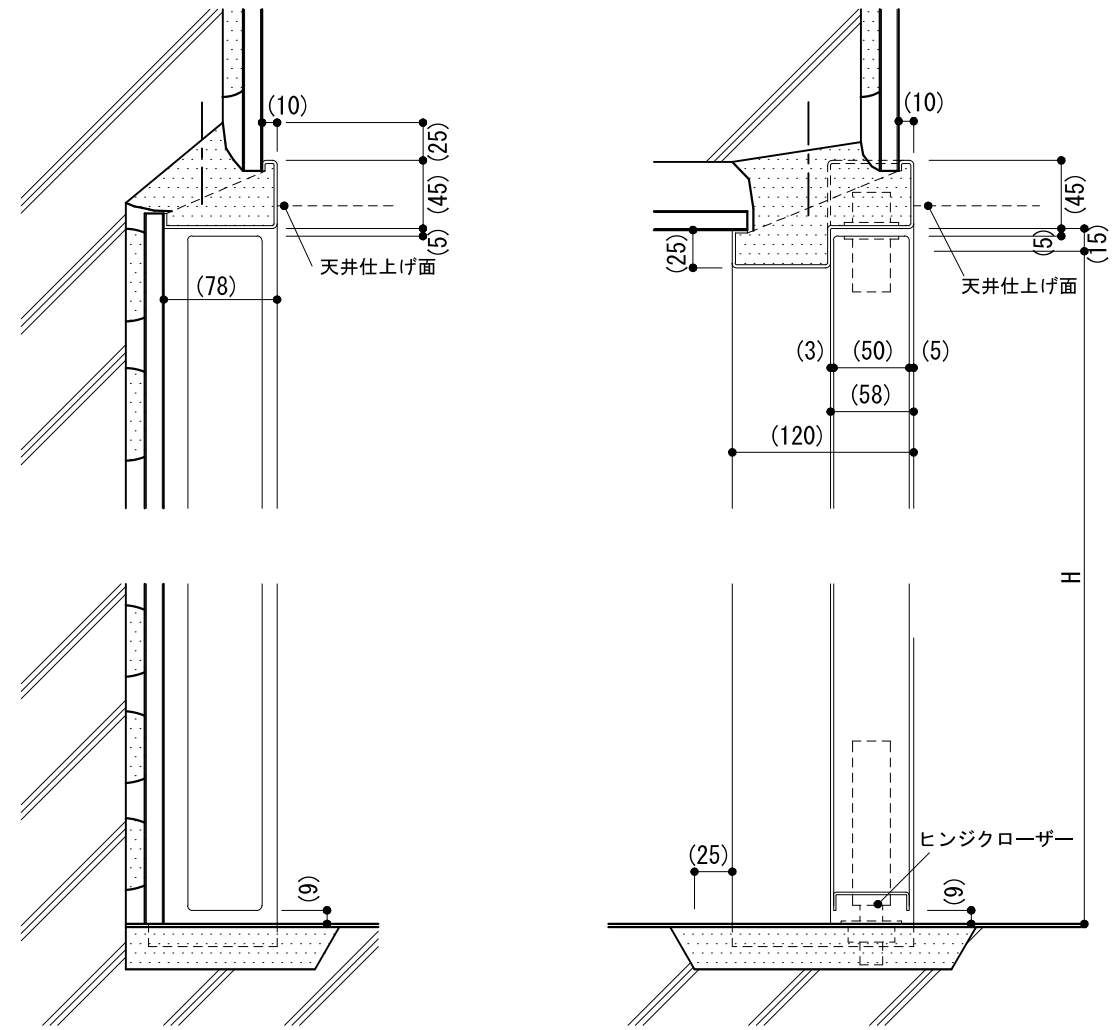
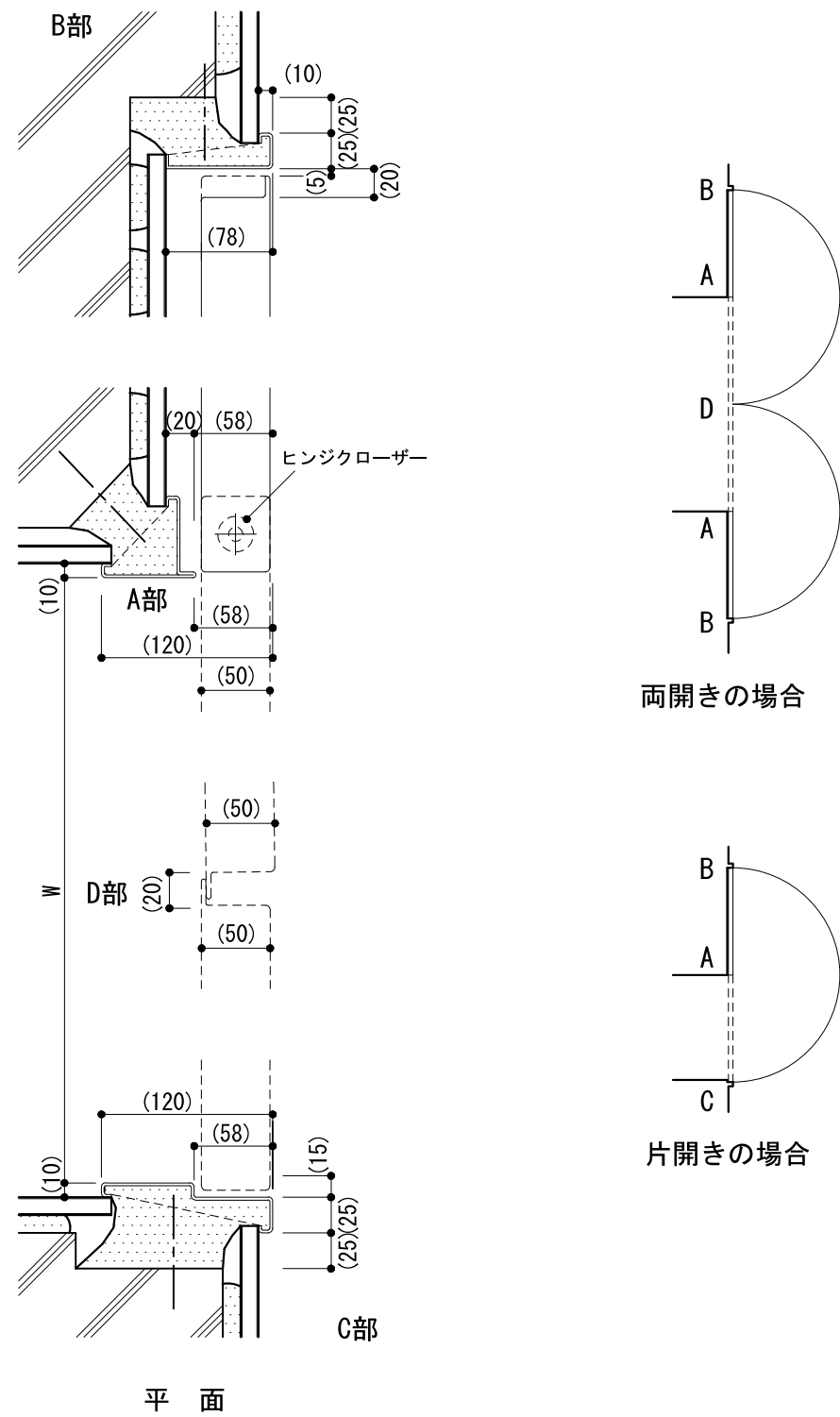
図面名称	建具取合い:簡易気密型鋼製建具 (内部用)	
縮 尺	1/5	4-45
建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 鋼製建具枠



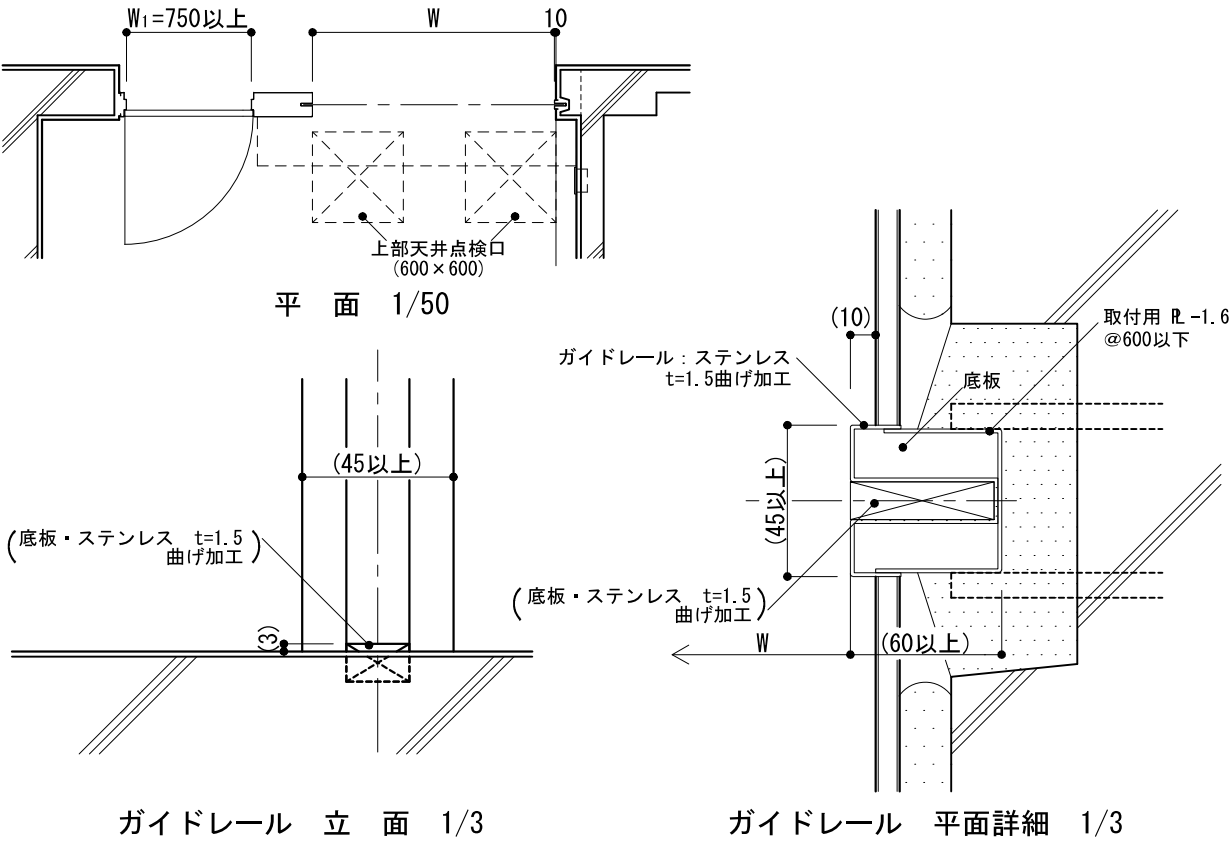
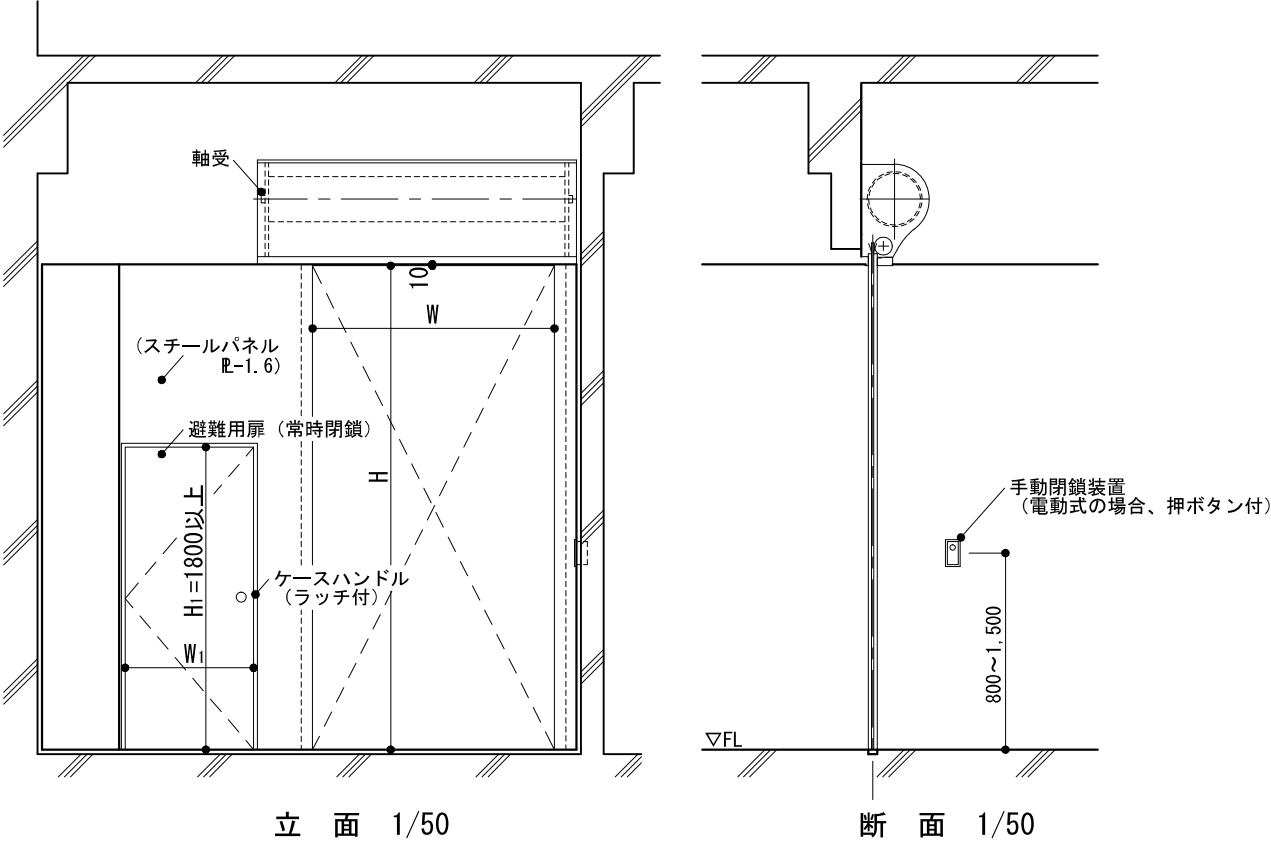
仕様 1) ヒューズ装置の場合は、自動閉鎖機構、切込み、開口補強を含む。 2) 煙感知器又は熱感知器連動装置の場合は切込み、開口補強のみとし、吸着板、ラッチ受け座は別途とする。	特記事項 1) 自動閉鎖機構及び感知装置の種別 2) 枠の塗装の種別		図面名称	建具取合い: 防火戸 (90度開き)	
			縮 尺	1/5	4-47
			建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 鋼製建具枠



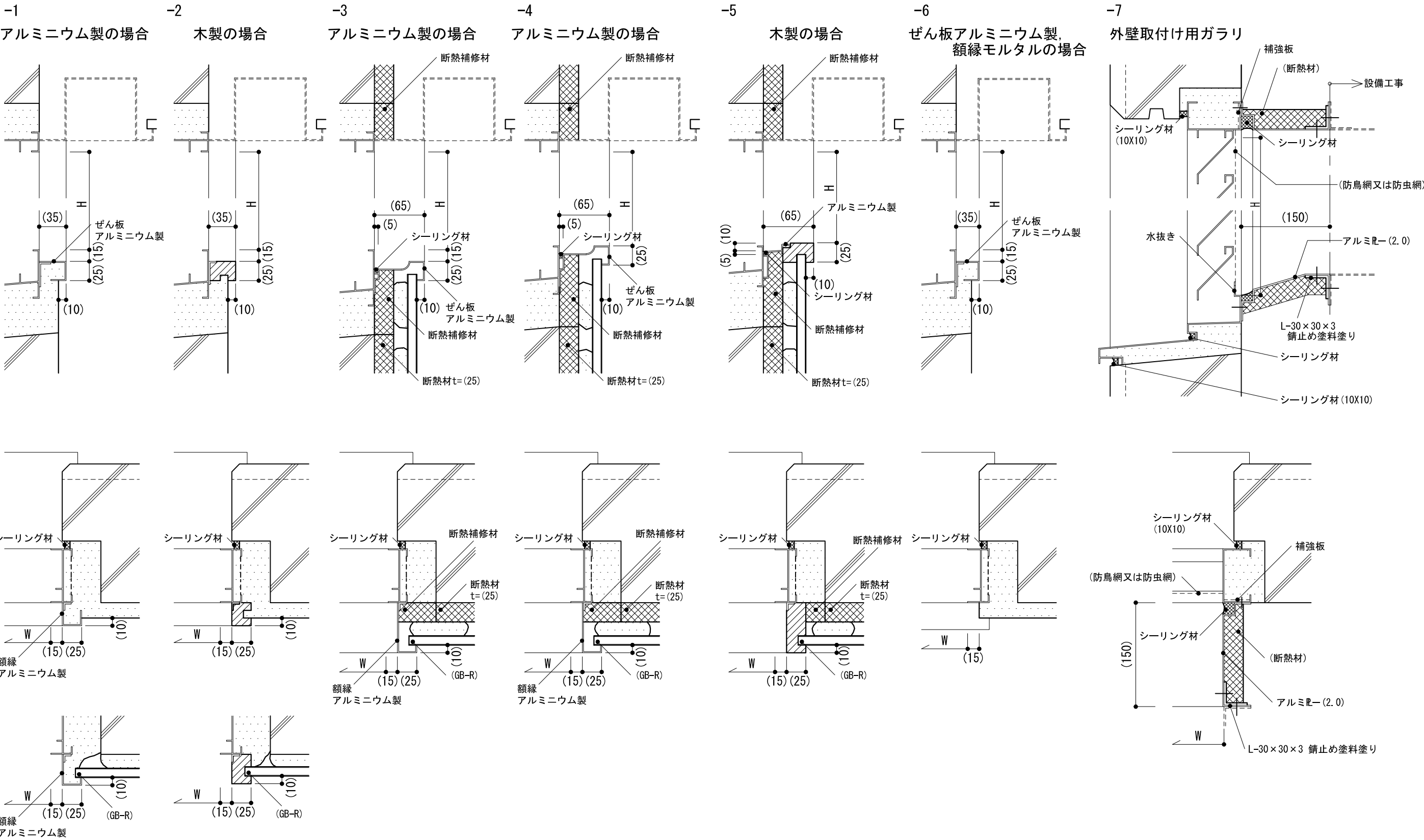
仕様 1) ヒューズ装置の場合は、自動閉鎖機構、切込み、開口補強を含む。 2) 煙感知器又は熱感知器連動装置の場合は切込み、開口補強のみとし、吸着板、ラッチ受座は別途とする。	特記事項 1) 自動閉鎖機構及び感知装置の種別 2) 枠の塗装の種別		図面名称	建具取合い: 防火戸(180度開き)	
			縮 尺	1/5	4-48
			建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 防火・防煙シャッター

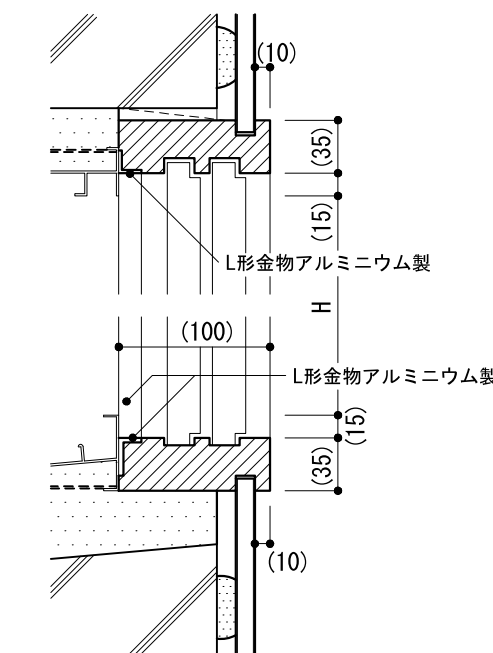
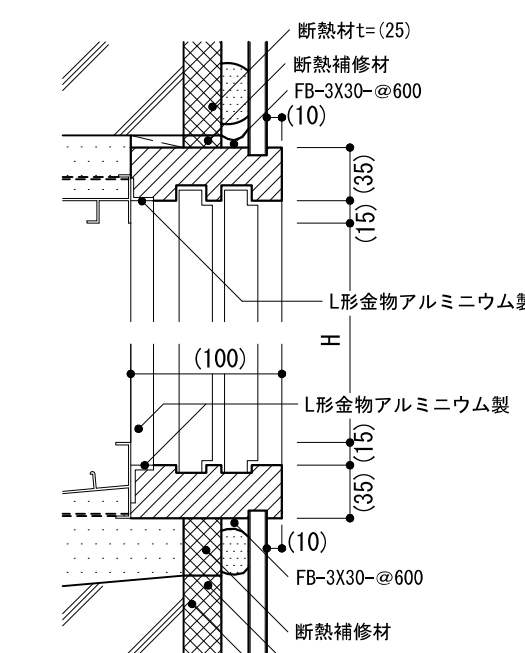


仕様 1) シャッター各部は、公共標仕(建) 16.10及び製造所の仕様による。	特記事項 1) W, H, W ₁ , H ₁ 2) 開閉機能の種別 3) 危害防止機構の種別 4) 手動閉鎖装置の設置位置 5) 塗装の種別 6) ステンレスの種別 7) パネルの材質、厚さ、仕上げ、取合い 8) 天井点検口の設置位置、寸法	図面名称		シャッター: 防火・防煙シャッター	
		縮 尺		1/3, 1/50	4-49
		建築工事標準詳細図 平成28年版			

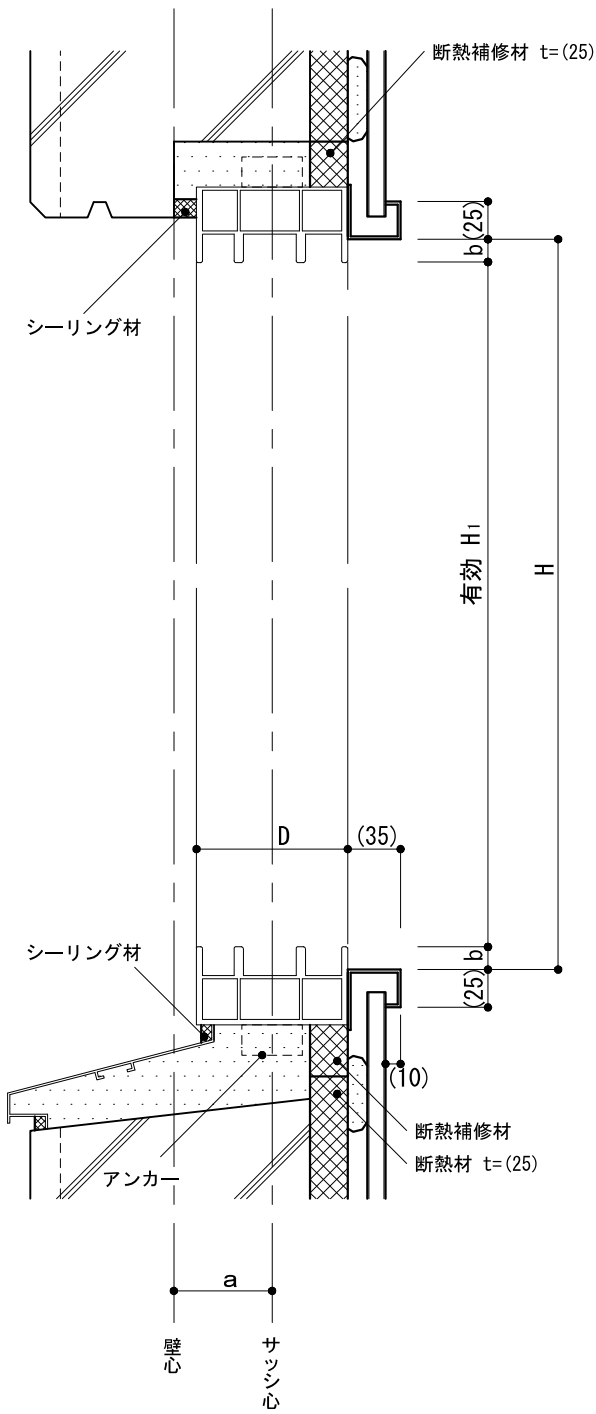
-1～-7 窓回り(ぜん板及び額縁)



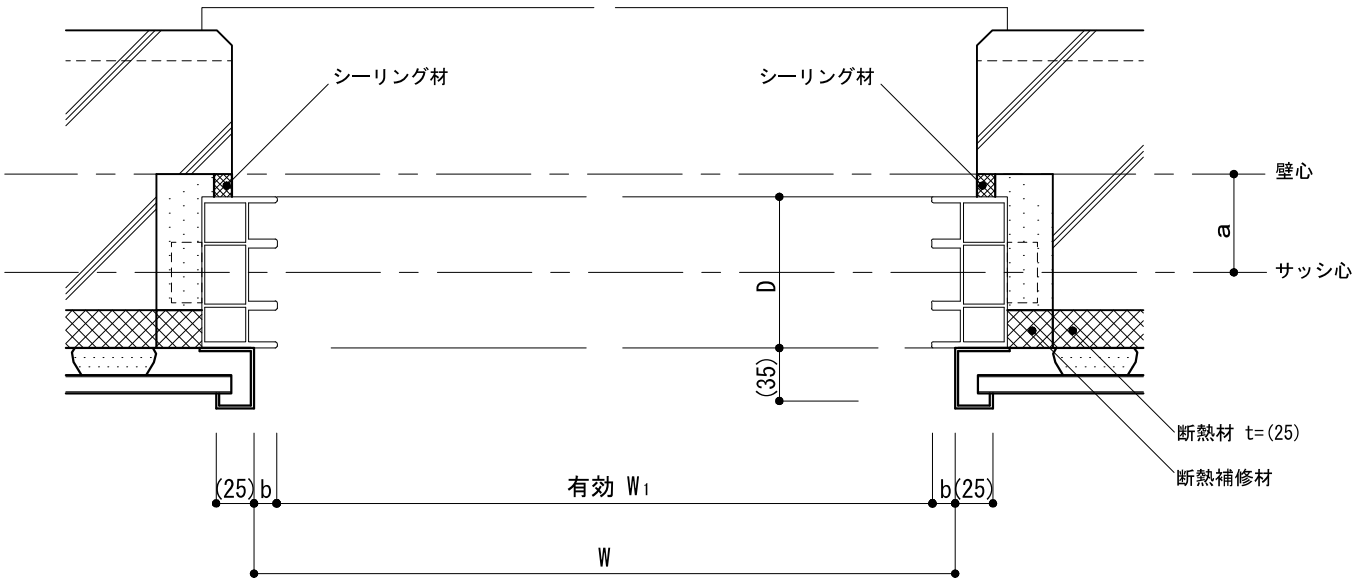
仕様 1) カーテンボックス又はカーテン受け板が付く場合は、 3-31, 32による。 2) アルミニウム製のぜん板及び額縁は押出形材とする。	特記事項 1) -3, -4, -5の断熱補修材の材種 2) 防鳥網又は防虫網の有無及び線材・線径のメッシュサイズ 3) -7の断熱材の有無		図面名称	建具取合い:窓 (カーテンボックス, ダクト等と取合う場合)	
			縮 尺	1/5	4-52
			建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1 二重窓		-2 二重窓(断熱材ありの場合)			
 断面 平面		 断面 平面			
仕様 1) 外部建具が鋼製建具の場合もこれに準ずる。 2) 木部は塗装なしとする。 3) 鉄面は、錆止め塗料塗りとする。 4) FBの取付けは、あと施工アンカーを使用してもよい。 5) 水切りの有無及び寸法、サッシ位置などは4-51による。		特記事項 1) -2の断熱補修材の材種			
				図面名称	建具取合い：二重窓
				縮 尺	1/5
				建築工事標準詳細図 平成28年版	
				4-53	

-1 樹脂製建具窓回り



断面 1/5



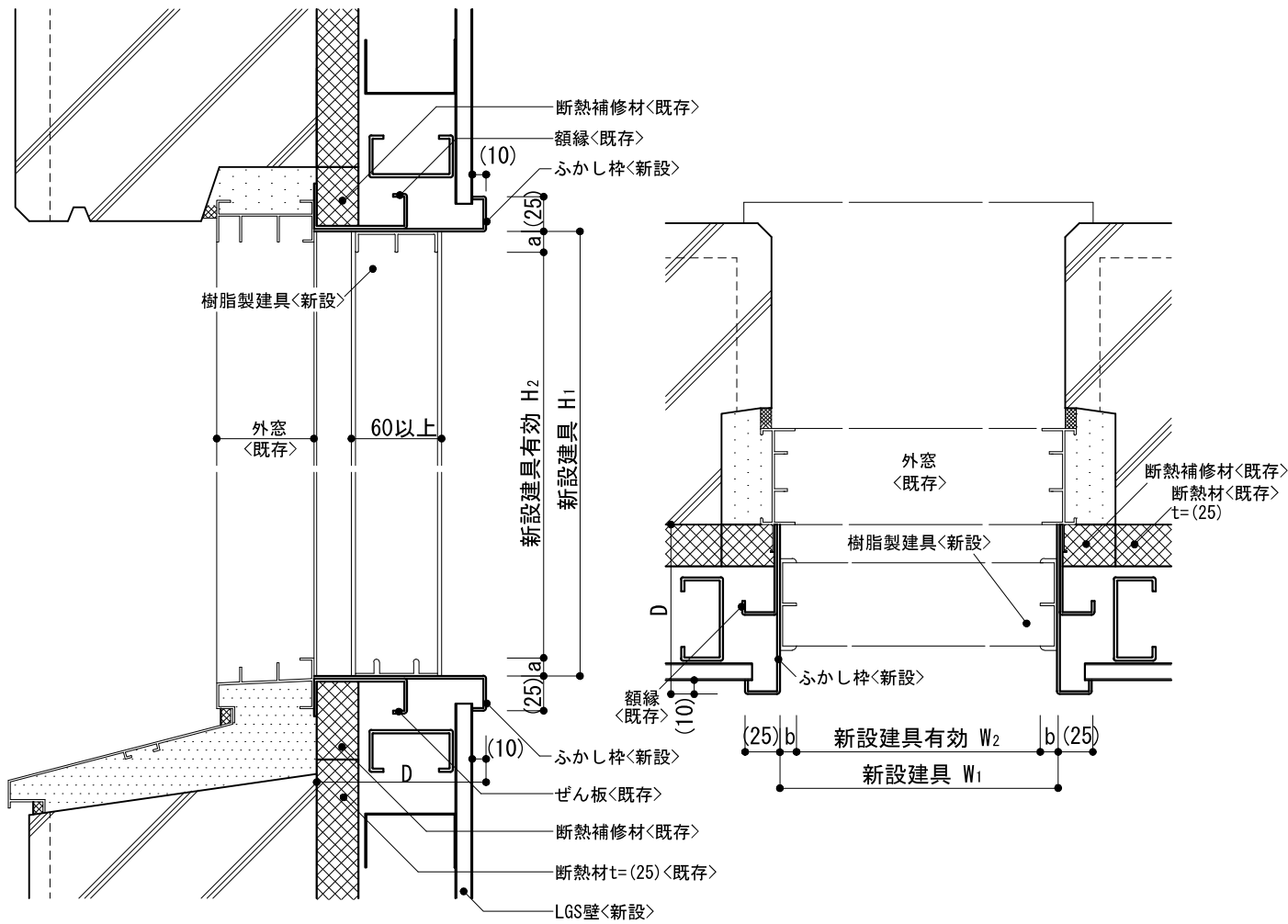
平面 1/5

仕様 1) 樹脂製建具は複層ガラスを使用する。 2) 各部詳細・金物等は建具製造所の仕様による。 3) 製品の寸法許容差は JIS A 4702 又は JIS A 4706による。	特記事項 1) W , H , D, a, b, W ₁ , H ₁ 2) 断熱補修材の材種		図面名称	建具取合い: 窓(樹脂製建具)	
			縮 尺	1/5	4-54
			建築工事標準詳細図 平成28年版		

-1,-2 二重窓(改修)(樹脂製建具)

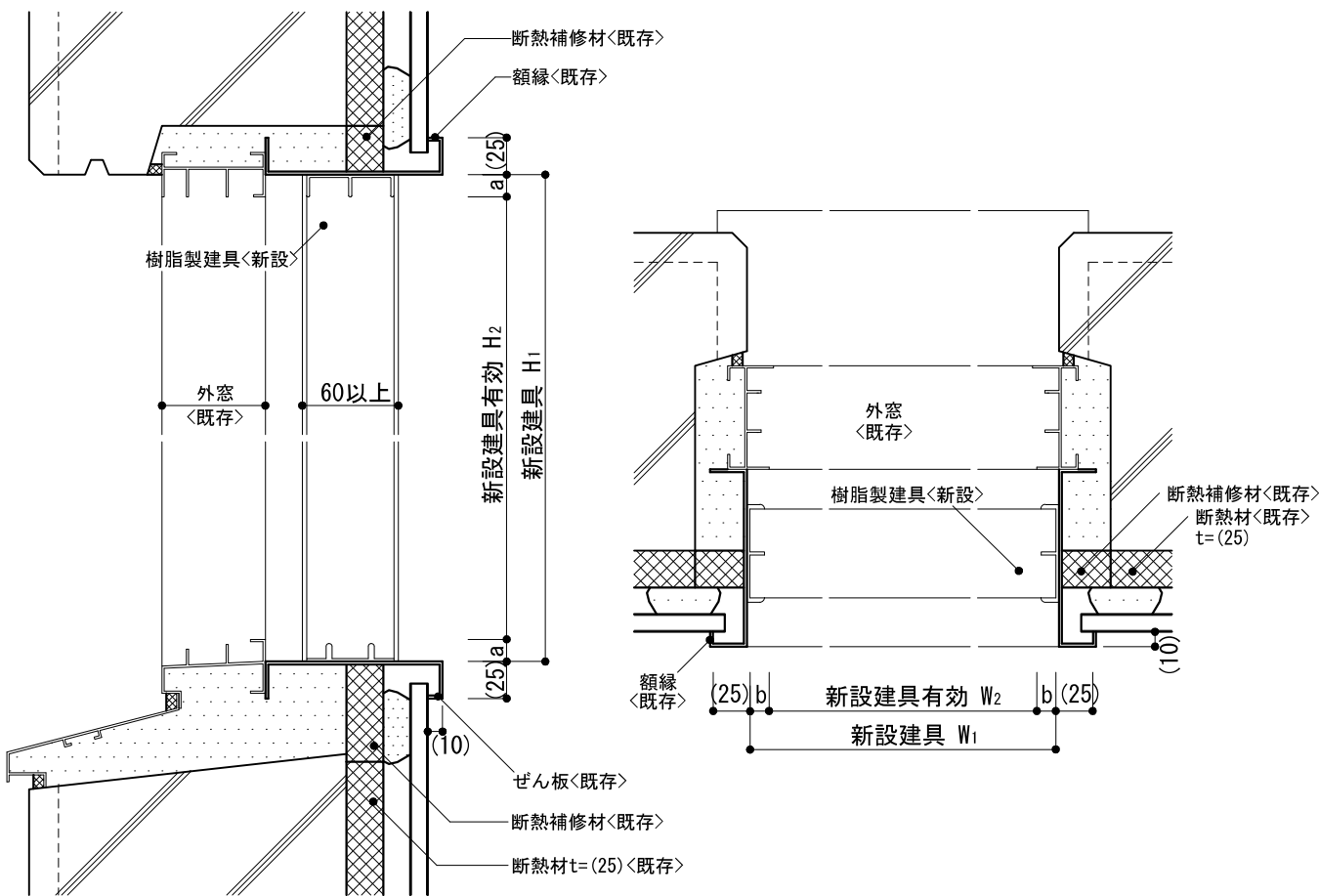
-1 既存額縁見込で納まらない場合

-2 既存額縁見込で納まる場合



断面 1/5

平面 1/5



断面 1/5

平面 1/5

仕様

- 樹脂製建具は複層ガラスを使用する。
- 各部詳細・金物等は建具製造所の仕様による。
- 樹脂製建具枠見込みは60mm以上とする。
- 製品の寸法許容差は JIS A4702 又は JIS A4706による。

特記事項

- W₁, W₂, H₁, H₂, D, a, b
- ふかし枠の材種
- 1の補強方法
- 既存建具の寸法

図面名称

建具取合い:二重窓(改修)
(樹脂製建具)

縮 尺

1/5

建築工事標準詳細図 平成28年版

4-55